

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	心理学		学年	1 年 期生		
担当者			期別	後期		
単位数	2 単位		講義・実習	講義		
時間数・授業回数	4 時間× 8 回		専任・兼任	兼任		
実務経験	臨床心理士・看護師の経験を有する教員が、心理学・カウンセリングに関する授業を担当する					
一般目標(GIO)						
<p>心理学の各領域の代表的な理論と知見を紹介し、また日常生活の身近な題材を活用して、人間行動の仕組みに関する認識を深めながら心理学の基礎を習得する。</p> <p>人はどのようなことを考え、どのような行動をするのか、心理学の基礎的な理論を教科書や資料を用いて解説す</p>						
回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	10	1	火	3	「見る・聞く・感じるころ」「学ぶ・覚えるころ」	知覚についての基礎知識・特徴について理解する
2				4	〃	学習・記憶についての基礎知識・病理について理解する
3	10	15	火	3	「やる気の心理」「喜怒哀楽のころ」	動機付け・欲求について概念・特徴を理解する
4				4	〃	感情・ストレスについて理解する
5	11	5	火	3	「その人らしさの心理」「かしこさの心理」	パーソナリティの特徴・障害について理解する
6				4	〃	知能の基礎知識、障害について理解する
7	11	12	火	3	「考えるころ」「発達するころ(1)」	考える・問題解決法について理解する
8				4	〃	発達の基礎知識について理解する
9	11	26	火	3	「発達するころ(2)」「人と関わる心理」	発達・生涯の発達について理解する
10				4	〃	人間関係について学ぶ
11	12	10	火	3	「人と集うころ」「健康なころ」	集団・リーダーシップについて理解する
12				4	〃	メンタルヘルスについて学ぶ
13	1	21	火	3	「カウンセリングのころ」「思いを伝えあうころ」	カウンセリングのマインドについて理解する
14				4	〃	コミュニケーションスキルを高める
15	2	4	火	4	まとめ	授業のまとめ、心理学の歴史について理解する
	2	17	月	1	テスト	
評価基準				教科書		参考書
筆記試験		80%		医歯薬出版 心理学		
平常授業態度		20%				
		%				

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(13:00~14:30)

4限目(14:40~16:10)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名		コミュニケーション論		学年	1 年 期生	
担当者				期 別	前期	
単位数	1 単 位			講義・実習	講義	
時間数・授業回数		2時間 × 8回		専任・兼任	兼任	
実務経験	IT機、航空会社、商社勤務経験を有する教員がコミュニケーションスキルの授業を担当す					
一般目標 (GIO)						
現代社会コミュニケーション学を根拠や理論に基づき他者との関わりを修得するために必要な要素である目的や手段を知り、双方通行の基礎知識を身に付ける。オンライン(WEB)コミュニケーションも修得する。						
回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標 (SBOs)
1	6	3	月	1	序章:現代、社会コミュニケーションとは 人との関わり方、ラポール	コミュニケーションの在り方を述べる
2				2	1章:コミュニケーションの印象力、外見、身嗜み、表情の意味	人との関係性をきずく伝達経路について説明する
3	6	10	月	1	2章:コミュニケーションの話す力、明確で丁寧な話し方、話材	言葉を媒介とする言語的主張も選択する
4				2	模擬演習・アクティブラーニング	声の大きさ、発音、発声挨拶用語を使用する
5	6	17	月	3	3章:コミュニケーションの態度力、基本動作、共感を生み出す傾聴力	言葉を媒体としない非言語の意味を認識する
6				4	模擬演習・アクティブラーニング	自分を生かす、相手を生かす基本動作を理解する
7	7	3	水	3	4章:コミュニケーションの会話力、敬語、医療用語、患者の敬い方	聴く力、かかわる力の視点について関係づける
8				4	ミニテスト/ロールプレイング	敬語を使う対象と使い方の原則について分類する
	7	25	木	1	テスト	
評価基準				教科書		備考
筆記試験		40%			シート:使用 プリント:使用	
レポート等		10%				
小テスト		30%				
平常点		20%				

1限目 (9:00~10:30)

2限目 (10:40~12:10)

3限目 (13:00~14:30)

4限目 (14:40~16:10)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	生物学				学年	1 年 期生			
担当者					期 別	前期			
単位数	2 単 位				講義・実習	講義			
時間数・授業回数	2 時間× 15 回				専任・兼任	兼任			
実務経験	歯科大学口腔生化学講座の教員として39年間教育・研究に携わる。								
一般目標 (GIO)									
<p>生命科学は生物学を基本とした学問分野であるが、生物学の知識と応用の延長に歯科医学の基礎をつくる解剖学、生理学、生化学などの分野も展開している。歯科衛生士は生命科学の知識なくして、人間の体の成り立ち、仕組みなどを理解することがより困難になっている。そこで生命とは何か、地球上の生命は如何にして誕生したのかをたうえで、生命を作る細胞の成り立ちと活動、生命が連続するメカニズム、そして生命が環境の変化に合わせて生活仕組みについて認識を深める。</p>									
回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標 (SBOS)			
1	4	18	木	2	生 命	地球上の生命の誕生について述べるができる			
2	4	25	木	2	細胞の構造	生物学の重要概念の一つである「細胞」を説明できる			
3	5	2	木	2	細胞の働き	生命をつくる細胞の成り立ちと活動を列挙できる			
4	5	9	木	2	組織と器官	細胞の集合体が組織・器官であることを系統立てる			
5	5	16	木	2	生 殖	生命が連続する仕組みについて説明できる			
6	5	23	木	2	メンデル遺伝	遺伝学の基礎を現実の問題として解釈できる			
7	5	30	木	2	分子遺伝	遺伝子の本体DNAやRNAの働きについて列挙できる			
8	6	6	木	2	発生・老化	発生の仕組みと老化のメカニズムを述べるができる			
9	6	13	木	2	神 経	外部刺激を受容し反応する系を系統立てる			
10	6	20	木	2	代 謝	細胞内外でおこる化学反応を総括できる			
11	6	27	木	2	ホルモン	細胞から器官間の情報伝達の仕組みを列挙できる			
12	7	4	木	2	生体防御	生命が持つ防御機構を説明できる			
13	7	11	木	2	動物の行動	環境変化に応じて動物が生活する仕組みを解釈できる			
14	7	17	水	2	生態学	現生生物と自然環境との関係を列挙できる			
15	7	18	木	2	進 化	生命誕生以来の生物の進化について説明できる			
	7	25	木	2	テスト				
評価基準					教科書	参考書			
筆記試験	95 %				医歯薬出版 生物学				
平常点	5 %								
	%								
	%								

1限目 (9:00~10:30)

2限目 (10:40~12:10)

3限目 (13:00~14:30)

4限目 (14:40~16:10)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	化学		学年	1 年 期生		
担当者			期 別	前期		
単位数	1 単 位		講義・実習	講義		
時間数・授業回数	2H×8回		専任・兼任	兼任		
実務経験	歯科大学口腔生化学講座の教員として39年間教育・研究に携わる。					
一般目標(GIO)						
<p>化学は物質の性質、構造、変化に関する学問である。歯科衛生士は医療の現場で種々雑多な歯科材料などの物扱う立場にあり、それぞれに対して科学的な基礎知識が必要不可欠である。そこでそれらに対応するように、物質の理解させるためにできるだけ平易になおかつ体系的に行われる講義を受講することによって、その後の基礎科目の基礎となるように、理解を深めることを目指す。</p>						
回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	22	月	3	イントロダクション 原子・分子	「物質」を分類し、その構造を述べることができる
2	5	13	月	3	気 体	気体の温度-圧力関係や空気の性質を解釈できる
3	5	27	月	3	溶液・濃度 酸・塩基	濃度を分類し、濃度計算を正確にできる
4	6	3	月	3	酸化・還元	酸化・還元反応について一般化することができる
5	6	10	月	3	化学反応	種々の化学反応式を解釈することができる
6	6	24	月	3	有機化合物	有機化合物の基礎を把握する
7	7	1	月	3	生体高分子	糖質・脂質・タンパク質の構造と機能について説明できる
8	7	8	月	3	環境学概論	地球環境に及ぼす化学物質の影響を説明できる
	7	25	木	3	テスト	
評価基準						
				教科書		参考書
筆記試験				医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ化学		
平常点						
		%				
		%				

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(13:00~14:30)

4限目(14:40~16:10)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	情報処理技術(Excel・PowerPoint)		学 年	1 年 期生		
担当者			期 別	後期		
単 位 数	2 単 位(30H)		講義・実習	実習		
時間数・授業回数	2H×15回		専任・兼任	兼任		
実務経験	パソコンインストラクターの経験を有する教員が、Excel及びPowerPointについて指導する。					
一般目標(GIO)						
Microsoft Excelの基本的な機能を理解し、表計算やグラフの作成およびデータベース機能を利用したデータの管理などの基本操作を習得する。						
Microsoft PowerPointの基本的な機能を理解し、スライドの作成や発表原稿の作成、発表する際の操作など基本操作を習得する。						
回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	11	11	月	3	第1章 Excelの基礎知識	Excelで何ができるかを説明できる。
2				4	第2章 データの入力	データ入力や保存等の基本的な操作ができる。
3	11	18	月	3	第3章 表の作成	表作成に関する操作ができる。
4				4	第4章 数式の入力	適切な関数を選択できる。
5	12	2	月	3	第5章 表の印刷	印刷に関する操作ができる。
6				4	第6章 複数シートの操作	複数シートに関する操作ができる。
7	12	9	月	3	第7章 グラフの作成	適切なグラフを選択できる。
8				4	第8章 データベースの利用	データベースに関する操作ができる。
9	12	16	月	3	付録3 プレゼンテーションの基礎知識 第1章 PowerPointの基礎知識	プレゼンテーションの流れを説明できる。 PowerPointで何ができるかを説明できる。
10				4	第2章 基本的なプレゼンテーションの作成	プレゼンテーション作成に関する基本的な操作ができる。
11	1	20	月	3	第3章 表の作成	表作成に関する操作ができる。
12				4	第4章 グラフの作成	適切なグラフを選択できる。
13	1	27	月	3	第5章 図形やSmartArtグラフィックの作成	目的に合った図形を選択できる。
14				4	第6章 図・クリップアート・ワードアートの挿入	図・クリップアート・ワードアート作成の操作ができる。伝えたい内容に応じてSmartArtグラフィックを選択できる。
15	2	3	月	3	第7章 特殊効果の設定 第8章 プレゼンテーションをサポートする機能	特殊効果の設定に関する操作ができる。 スライドショー実行中の操作やリハーサルに関する操作ができる。
	2	3	月	4	定期テスト	Excel2019、PowerPoint2019の実技総テスト
評価基準			教科書			参考書
実技試験	90%		FOM出版 よくわかるMicrosoft			
平常点	10%		よくわかるMicrosoft Excel 2019基礎			
		%	よくわかるMicrosoft PowerPoint2019基礎			
		%				

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(13:00~14:30)

4限目(14:40~16:10)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	歯科英語(英会話含む)				学年	1年	期生
担当者					期別	前期	
単位数	2単位				講義・実習	講義	
時間数・授業回数	2時間×15回				専任・兼任	兼任	
実務経験	本校での29年間の指導						
一般目標(GIO)							
歯科衛生士として患者への会話力を身につける。 専門用語を英語で理解し、書ける。							
回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標(SBOs)	
1	4	16	火	1	テキストp25	簡単な質問が出ること	
2	4	23	火	1	テキストp26～33	患者の症状等、英語で言える ディクテーション	
3	4	30	火	1	テキストp33～39	衛生士として患者に声掛けするフレーズを声に出して覚える	
4	5	7	火	1	テキストp40～50	専門用語の習得、患者の予約の取り方	
5	5	14	火	1	復習	ロールプレイ ディクテーション	
6	5	28	火	1	テキストp51～54	専門用語 痛みに対する用語の習得 ディクテーション	
7				2	テキストp54～60	患者の声掛け、専門用語の習得	
8	6	4	火	1	テキストp60～63	患者絵の質問フレーズ ディクテーション	
9	6	11	火	1	テキストp63～70	歯科医院での患者への声掛け重要フレーズ ディクテーション	
10	6	18	火	1	テキストp72～81	薬等の飲み方の説明フレーズ ディクテーション	
11				2	復習	ロールプレイ ディクテーション	
12	6	25	火	1	テキストp82～92	衛生士として実際に歯科医院で使うフレーズの習得	
13	7	2	火	1	グループワーク	重要フレーズの確認	
14	7	9	火	1	衛生士とのフレーズテスト		
15	7	16	火	1	総復習	テスト対策	
	7	26	金	1	テスト		
評価基準				教科書		参考書	
筆記試験	100	%	医学情報社 歯科用英語ハンドブック即戦力トレーニング		歯科医院での実用英会話		
平常点		%					
		%					
		%					

1限目(9:00～10:30)

2限目(10:40～12:10)

3限目(13:00～14:30)

4限目(14:40～16:10)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	解剖学				学年	1年	期生
担当者					期別	前期	
単位数	2単位				講義・実習	講義	
時間数・授業回数	2時間×15回				専任・兼任	兼任	
実務経験	大学病院歯科口腔医療センター、大学医学部解剖学講座(肉眼臨床解剖部門)						
一般目標 (GIO)							
歯科予防処置、歯科診療補助、歯科保健指導を行うために必要な人体解剖学の基礎を理解する							
回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標 (SBOs)	
1	5	1	水	1	総論、序章(p1~10)	解剖学の意義と歴史、人体の構成、身体表現の決まり、方向用語を理解する	
2				2	骨格系(p46~63)	骨の構造と機能、結合、骨化様式、体幹骨、上肢および下肢骨の種類と形態を理解する	
3	5	8	水	1	筋と運動①(p64~73)	筋の種類と特徴、運動方向、表情筋、咀嚼筋、頸部の筋を理解する	
4				2	筋と運動②(p73~79)	背部、胸腹部、上下肢の筋を理解する	
5	5	15	水	1	消化と吸収①(p84~108)	消化と吸収に関わる消化器の構造を理解する	
6				2	消化と吸収②(p84~108)	消化と吸収に関わる消化器の構造を理解する	
7	5	29	水	1	循環①(p109~112、121~131、139~146)	脈管系、心臓の構造、動脈と静脈系を理解する	
8				2	循環②(p147~155)	門脈系、胎児の循環系、リンパ系を理解する	
9	6	5	水	1	感覚 (p156~178)	体性感覚、皮膚および特殊感覚器の構造を理解する	
10				2	神経系(p179~211)	神経系の分類、各神経系の解剖を理解する	
11	6	26	水	1	呼吸 (p213~233)	呼吸器の構成、仕組みを理解する	
12				2	腎機能と排尿 (p234~245)	腎臓と泌尿器の構造、排尿の仕組みを理解する	
13	7	10	水	1	内分泌 (p246~257)	内分泌腺の種類、と各器官の構造を理解する	
14				2	生殖器 (p259~263)+振り返り	男性および女性生殖器の構造を理解する、これまでの講義内容を振り返る	
15	7	17	水	1	試験前講義+質疑応答	これまでの講義の要点を抑え、質疑応答を行う	
	7	26	金	2	テスト		
評価基準				教科書		参考書	
筆記試験				100%	医歯薬出版(株) 歯科衛生学シリーズ 解剖学・組織発生学・生理学		
平常点				0%			
				%			

1限目 (9:00~10:30)

2限目 (10:40~12:10)

3限目 (13:00~14:30)

4限目 (14:40~16:10)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	生理学		学年	1 年 期生		
担当者			期 別	前期		
単位数	2 単 位		講義・実習	講義		
時間数・授業回数	2時間×15回		専任・兼任	兼任		
実務経験	歯科大学口腔病理学助手6年、歯科医院勤務4年、歯科医院 開業30年。					
一般目標 (GIO)						
生理学は、人体の機能とその仕組みを明らかにする学問である。口腔の機能を学ぶにあたり、先ず全身の機能を理解することを目的とする。全身機能との関連性を認識しながら学習してもらいたい。						
回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標 (SBOs)
1	4	18	木	4	細胞と組織	細胞の構成と、構成体の機能、活動電位について説明出来る。
2	4	25	木	4	細胞と組織	細胞の構成と、構成体の機能、活動電位について説明出来る。
3	5	2	木	4	消化・吸収	消化・吸収の経路を理解し、消化液の分泌調節機能を説明出来る。
4	5	9	木	4	消化・吸収	消化・吸収の経路を理解し、消化液の分泌調節機能を説明出来る。
5	5	16	木	4	循環	血液の構成成分を類別し、その機能を説明出来る。体循環と肺循環を理解し、心臓の構造と機能を説明出来る。
6	5	23	木	4	循環	消化・吸収の経路を理解し、消化液の分泌調節機能を説明出来る。
7	5	30	木	3	感覚	全身と口腔の感覚のメカニズムを理解し、情報の伝達に付いて説明出来る
8		30	木	4	神経系	神経系を分類し、神経細胞の興奮と伝導の仕組みを説明出来る。
9	6	6	木	4	神経系	神経系を分類し、神経細胞の興奮と伝導の仕組みを説明出来る。
10	6	13	木	3	呼吸	呼吸器の構造と機能を関連づけ、呼吸運動の制御の仕組みを説明出来る。
11			木	4	排泄	腎臓の機能と循環系を関連づけ、尿生成の仕組みを説明出来る。
12	6	20	木	4	体温	体熱の産生と放散を理解し、体温調節について説明出来る。
13	7	4	木	4	内分泌・生殖	内分泌調節の仕組みを説明出来る。
14	7	11	木	4	内分泌・生殖	内分泌調節の仕組みを説明出来る。
15	7	18	木	4	まとめ・復習	
	7	26	金	3	テスト	
評価基準				教科書		参考書
筆記試験	80 %	医歯薬出版				
レポート	10 %	解剖学・組織発生学・生理				
平常点	10 %	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔				

1限目 (9:00～10:30)

2限目 (10:40～12:10)

3限目 (13:00～14:30)

4限目 (14:40～16:10)



令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	口腔生理学	学年	1 年 期生
担当者		期 別	後期
単位数	1 単 位	講義・実習	講義
時間数・授業回数	2時間×8回	専任・兼任	兼任
実務経験	福岡歯科大学口腔病理学助手6年、樋口歯科勤務4年、くまもと歯科医院 開業30年。		

一般目標 (GIO)

口腔生理学は、口腔を構成する諸器官の生命現象、機能を研究し、それらに存在する法則性を明らかにする生理学の一分野である。複雑な口腔各器官の生理学的機能を理解することを目標とする。また、口腔顔面領域の諸機能は身体の他部位から独立して営まれているのではない。全身機能との関連性を認識しながら学習してもらいたい。

回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標 (SBOs)
1	10	17	木	4	歯・口腔・顔面の感覚	口腔顔面領域の感覚神経機構を理解し、歯痛や顎関節のメカニズムを説明出来る。
2	10	24	木	4	味覚と嗅覚	基本味と味物質を識別でき、味が受容される仕組みを説明出来る。
3	11	7	木	4	咬合と咀嚼・吸啜	下顎位を理解し、下顎反射や咀嚼筋機能を説明出来る。
4	11	14	木	4	咬合と咀嚼・吸啜	下顎位を理解し、下顎反射や咀嚼筋機能を説明出来る。
5	11	28	木	4	嚥下と嘔吐	嚥下と嘔吐の作用と機序、目的を説明出来る。
6	12	5	木	4	発声・発語	発声・発語に拘わる脳と音声器官の働きを説明出来る。
7	1	9	木	4	唾液	唾液の性状と成分を理解し、唾液の分泌機能を説明出来る。
8	1	23	木	4	まとめ	細胞の構成から、諸器官の機能を復習し、口腔諸器官の生理機能と結びつける。
	2	18	火	1	テスト	
評価基準					教科書	参考書
筆記試験	80 %	医歯薬出版				
レポート	10 %	解剖学・組織発生学・生理				
平常点	10 %	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔				

1限目 (9:00～10:30)

2限目 (10:40～12:10)

3限目 (13:00～14:30)

4限目 (14:40～16:10)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	生化学		学年	1 年 期生			
担当者			期 別	後期			
単位数	1 単 位		講義・実習	講義			
時間数・授業回数			専任・兼任	兼任			
実務経験	歯科大学口腔生化学講座の教員として39年間教育・研究に携わる。						
一般目標(GIO)							
<p>将来、歯科衛生士として根拠や理論に基づいた口腔保健管理学を履修するために必要な基礎科学の一つとして生化学を修得する。生命現象を科学的・分子的レベルで理解する。生体を構成する物質や栄養素の代謝を理解し、生体内で働く酵素・補酵素の機能を理解し、それらによる代謝経路の生理的意味を説明できる。</p>							
回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標(SBOs)	
1	10	2	水	2	生体の構成要素	生体を構成する物質や栄養素の種類と代謝について	
2	10	9	水	2	生体における化学反応	糖質と脂質とタンパク質の構造と種類について	
3	10	16	水	2	糖質代謝	糖質代謝の経路とエネルギー産生について	
4	10	23	水	2	エネルギー代謝	クエン酸回路、電子伝達系、グリコーゲン代謝について	
5	10	30	水	2	脂質代謝	脂質の分解、脂肪酸の酸化、脂肪の合成について	
6	11	6	水	2	タンパク質代謝	アミノ酸の代謝分解、尿素回路について	
7	11	13	水	2	核酸代謝	核酸の構造と代謝、複製、修復、組換えについて	
8	11	20	水	2	遺伝子の働き	RNAの働き(転写)とタンパク質合成(翻訳)について	
	2	17	月	2	テスト		
評価基準						教科書	参考書
筆記試験				%	医歯薬出版 栄養と代謝		
平常点				%			
				%			
				%			

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(13:00~14:30)

4限目(14:40~16:10)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	組織・発生学		学年	1 年 期生			
担当者			期別	後期			
単位数	1 単位		講義・実習	講義			
時間数・授業回数	2 時間× 8 回		専任・兼任	兼任			
実務経験	大学での解剖学・口腔解剖学・発生学の講義を経験する教員が口腔・顎顔面解剖学について解説する。【大学歯学部・解剖学(6.5単位)、口腔解剖学(2単位)、発生学(1単位)】						
一般目標 (GIO)							
口腔組織発生学では、顔面・口腔・歯の発生の他、歯や歯周組織、顎骨、歯肉、口腔粘膜の構造について理解							
この科目の理解を通じて、歯と口腔の構造を三次元的に捉え、歯科衛生士としての臨床業務へと応用する。							
回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標 (SBOs)	
1	11	11	月	1	組織発生学 口腔組織発生学① 顔面と口腔、 歯、歯周組織の発生	人体の初期発生について形態学的に説明できる。 顔面と口腔、歯、歯周組織の発生について形態学的に説明できる。	
2				2			
3	11	25	月	1	口腔組織発生学② エナメル質、 象牙質	エナメル質、象牙質について形態学的に説明できる。	
4				2			
5	12	9	月	1	口腔組織発生学③ セメント質、 歯根膜、歯槽骨	セメント質、歯根膜、歯槽骨について形態学的に説明できる。	
6				2			
7	1	27	月	1	口腔組織発生学④ 歯肉、口腔 粘膜	歯肉、口腔粘膜について形態学的に説明できる。	
8				2			
	2	17	月	3	テスト		
評価基準						教科書	参考書
筆記試験	70%		<b>歯科衛生学シリーズ</b> 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (医歯薬出版株式会社)			口腔学顔面解剖ノート (学健書院)	
レポート等	10%						
小テスト	10%						
平常点	10%						

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	口腔解剖学		学年	1 年 期生		
担当者			期 別	前期		
単位数	2 単 位		講義・実習	講義		
時間数・授業回数	4 時間× 15 回		専任・兼任	兼任		
実務経験	大学での解剖学・口腔解剖学・発生学の講義を経験する教員が口腔・顎顔面解剖学について解説する。【大学歯学部・解剖学(6.5単位)、口腔解剖学(2単位)、発生学(1単位)】					
一般目標 (GIO)						
<p>本科目では、歯牙解剖学ならびに口腔解剖学を学び、以下のことを理解することを目標とする。</p> <p>歯牙解剖学では、歯の種類や形態、歯列、さらにその異常を理解する。</p> <p>口腔解剖学では、顎顔面口腔領域の骨や筋、脈管、神経の支配について理解する。</p> <p>これら2つの科目の理解を通じて、歯と口腔の構造を三次元的に捉え、歯科衛生士としての臨床業務へと応用する。</p>						
回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標 (SBOs)
1	4	22	月	1	歯牙解剖学① 歯の形態の概要、永久歯1 切歯、犬歯	歯の形態の概要と永久歯(切歯、犬歯)の形態が説明できる。
2				2		
3	5	13	月	1	歯牙解剖学② 永久歯2 小白歯、大白歯、乳歯、形態異常、歯列と咬合	永久歯(小白歯、大白歯)、乳歯、歯の形態異常、歯列と咬合について形態学的に説明できる。
4				2		
5	5	20	月	1	口腔解剖学① 口腔、頭蓋骨	口腔と頭蓋骨の形態が説明できる。
6				2		
7	5	27	月	1	口腔解剖学② 顔面骨(上顎骨、口蓋骨、下顎骨、舌骨)	顔面骨(上顎骨、口蓋骨、下顎骨、舌骨)の形態が説明できる。
8				2		
9	6	17	月	1	口腔解剖学③ 顔面筋、咀嚼筋、舌筋、頸部の筋、筋隙、顎関節	顔面筋、咀嚼筋、舌筋、頸部の筋、筋隙、顎関節の形態が説明できる。
10				2		
11	6	24	月	1	口腔解剖学④ 口腔の脈管系	口腔の脈管系の形態が説明できる。
12				2		
13	7	1	月	1	口腔解剖学⑤ 口腔の脳神経	口腔の脳神経の形態が説明できる。
14				2		
15	7	8	月	1	口腔解剖学⑥ 口腔の脊髄神経と自律神経	口腔の脊髄神経と自律神経の形態が説明できる。
	7	29	月	1	テスト	
評価基準				教科書		参考書
筆記試験	70%		歯科衛生学シリーズ口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学		口腔学顔面解剖ノート (学健書院)	
レポート等	10%		(医歯薬出版株式会社)			
小テスト	10%					
平常点	10%					

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	口腔生化学		学年	1 年 期生		
担当者			期 別	後期		
単位数	1 単 位		講義・実習	講義		
時間数・授業回数			専任・兼任	兼任		
実務経験	福岡歯科大学口腔生化学講座の教員として39年間教育・研究に携わる。					
一般目標(GIO)						
<p>将来、歯科衛生士として根拠や理論に基づいた口腔保健管理学を履修するために必要な基礎科学の一つとして口腔生化学を修得する。歯と口腔に関して、歯牙・歯周組織の構造や唾液の機能を理解する。ペリクル・歯垢・歯菌の堆積物の性質を説明し、う蝕、歯周疾患との関係を考察する。</p>						
回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	12	4	水	2	結合組織	歯周組織の構成成分と構築メカニズムを説明できる。
2	12	11	水	2	歯牙の組成	歯の組成とその無機成分の石灰化に関与する有機成分
3	12	18	水	2	石灰化の仕組み	血清中のカルシウム、歯と骨の石灰化について
4	1	8	水	2	歯の脱灰と再石灰化	血清カルシウムの調節、歯の脱灰と再石灰化について
5	1	15	水	2	唾液の組成と機能	唾液の組成と作用、成分の役割、唾液分泌について
6	1	22	水	2	歯の堆積物	ペリクル、プラーク、歯石の生成と性質について
7	1	29	水	2	プラークの生物活性とう蝕発症機構	プラークの種類、形成、酸生成の仕組みについて
8	2	5	水	2	歯周疾患の発症機構と口臭	歯周疾患の発症機構、炎症反応、リポ多糖について
	2	18	火	2	テスト	
評価基準						
筆記試験				%	教科書 医歯薬出版 栄養と代謝	参考書
平常点				%		
				%		
				%		

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(13:00~14:30)

4限目(14:40~16:10)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	病理学・口腔病理学				学年	1 年 期生		
担当者					期 別	後期		
単位数	2単位				講義・実習	講義		
時間数・授業回数	2時間 × 15回				専任・兼任	兼任		
実務経験	口腔病理専門医・指導医および細胞診専門医を有し病理診断業務を実践する教員が、病理学の総論について解説する							
一般目標 (GIO)								
<p>病理学とは病気になった原因を探り、病気になった患者の身体に生じている変化が、どのようなものであるかを研究する学問分野であり、医学、医療になくてはならない情報を提供している。さらにその研究の成果が実際の患者の病気の診断や検診及び病気の予防にも活かされている。本科目では、病気にはどのような種類があるか、細胞・組織・臓器にどのような変化を生じるかを、肉眼的及び微細構造学的に理解し、個体に現れる症状や徴候についての知識を習得する。</p>								
回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標 (SBOs)		
1	9	26	木	1	病理学序論 病因論 遺伝性疾患	病理学の意義を説明する。病因と疾患の関係を説明し、病因の分類を述べる。遺伝子・染色体異常を説明する。		
2				2				
3	10	17	木	1	細胞、組織の障害 増殖と修復	代謝障害および変性を説明し、分類を述べる。壊死とアポトーシスを説明する。再生、萎縮、肥大、過形成および化生の定義を説明する。肉芽組織の特徴および生体での利用を説明する		
4				2				
5	11	14	木	1	循環障害 炎症	血液分布異常を説明する。閉塞性循環障害を説明する。炎症の定義を説明し、分類を述べる。特異性炎を説明し、分類を述べる。		
6				2				
7	11	28	木	1	免疫の病理 腫瘍	アレルギーの分類を述べる。自己免疫疾患および免疫不全症を説明する。腫瘍の定義を説明する。良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを説明する。腫瘍の組織学的分類を述べる。		
8				2				
9	12	5	木	1	病理概論(病因論、方法論)	種々の疾患で生じる臓器、組織、細胞での形態学的な変化を理解する。		
10				2	病理総論①(歯の発育異常、歯の損傷、修復)	歯の発育異常、歯の損傷、修復について理解する。		
11	12	12	木	1	病理総論②(循環障害、炎症、免疫)	循環障害、炎症、免疫について理解する。		
12				2	病理総論③(腫瘍)	腫瘍性病変について理解する。		
13	1	16	木	1	口腔病理①(歯の発育異常、歯の損傷)	歯の発育異常、歯の損傷について組織学的に理解する。		
14				2	口腔病理②(う蝕、歯髄病変、根尖部病変、慢性歯周炎ほか)	う蝕、歯髄病変、根尖部病変、慢性歯周炎について組織学的に理解する。		
15	1	30	木	1	口腔病理③(顎口腔の発育異常、顎骨・顎関節病変、口腔粘膜疾患)	顎口腔の発育異常、顎骨・顎関節病変、口腔粘膜疾患理解する。		
	2	18	火	3	テスト			
評価基準					教科書	参考書		
筆記試験	100 %				医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進1 病理学・口腔病理学			
	%							
	%							
	%							

1限目 (9:00~10:30)

2限目 (10:40~12:10)

3限目 (13:00~14:30)

4限目 (14:40~16:10)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	微生物学・口腔微生物学	学年	1 年 期生
担当者	A・B	期別	後期
単位数	2 単位	講義・実習	講義
時間数・授業回数	2 時間× 15 回	専任・兼任	兼任
実務経験	A: 歯科大学基礎免疫学講義担当 B: 歯科大学大学院細菌学研究中		

一般目標 (GIO)

感染は原因となる病原体の病原因子と宿主の生体防御のバランスが関係していることを理解する。

微生物の病原因子および微生物の侵襲に対する各種生体防御機構を理解する。

微生物による口腔疾患を理解し、病原微生物を排除するための方法を理解する。

回数	月	日	曜日	限目	項目	担当	行動目標 (SBOs)
1	10	8	火	3	微生物の分類	A	微生物の分類と特徴を理解する。
2				4	感染と免疫1: 定義		感染、免疫等の定義を理解する。
3	10	22	火	3	感染と免疫2: 免疫担当細胞	B	免疫系に関与する細胞を理解する。
4				4	感染と免疫3: サイトカインネットワーク		サイトカインネットワークの概要を理解する。
5	10	29	火	3	感染と免疫4: サイトカインネットワーク	B	各種サイトカインの働きを理解する。
6				4	感染と免疫5: 抗原抗体反応		抗原、抗体、これらの相互作用を理解する。
7	11	19	火	3	感染と免疫6: アレルギー	A	各種アレルギーの機序と疾患を理解する。
8				4	微生物学各論1: 真菌		真菌の概要、各種真菌の特徴を理解する。
9	12	3	火	3	微生物学各論2: ウイルス	B	ウイルスの構造や複製機序を理解する。
10				4	微生物学各論3: ウイルス		ウイルスによる疾患発症を理解する。
11	12	17	火	3	微生物学各論4: リケッチア・クラミジア	A	リケッチア・クラミジアの特徴を理解する。
12	1	14	火	3	口腔感染症1: う蝕	B	う蝕の発症メカニズムを理解する。
13				4	口腔感染症2: 辺縁性歯周病		歯周病の発症メカニズムを理解する。
14	1	28	火	3	口腔感染症3: その他	A	その他の口腔感染症を理解する。
15				4	滅菌と消毒および化学療法剤		各種滅菌、消毒、化学療法剤を理解する。
	2	20	木	1	テスト		
評価基準					教科書		参考書
筆記試験		100	%		医歯薬出版 微生物学		
			%				
			%				

1限目 (9:00~10:30)

2限目 (10:40~12:10)

3限目 (13:00~14:30)

4限目 (14:40~16:10)





令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	薬理学・歯科薬理学	学年	1 年 期生
担当者		期別	後期
単位数	薬理学2単位(内 一般薬理学24時間)	講義・実習	講義
時間数・授業回数	2時間×15回	専任・兼任	兼任
実務経験	平成25年よりドラッグストアに勤務し、平成30年から保険薬剤師として調剤薬局・ドラッグストア・日本薬業研修センターで講師を兼任しています。		

一般目標(GIO)

薬理学は、薬物を生体に与えた場合に生体が現す反応を研究する科学であり、また疾病の予防・診断・治療に置ける役割を追求する分野です。薬物は疾病の原因除去や症状緩和に使用されるが、副作用を惹起しない薬物はない。薬物の有用なく副作用も理解したうえで、薬物の選択を行わなくてはならない。そのためにも、薬物の作用や身体における薬物の重要性は重要な事である。薬理学の基礎的な概念を総論を通じて学習し、各論において個々の薬理作用を理解する事を目的とする。

回数	月	日	曜日	限目	項目項目	行動目標(SBOs)行動目標(SBOs)
1	9	27	金	2	薬理学とは・薬物の作用・薬物動態	薬理学の基礎を捉え、薬物の作用・用量について理解する・薬物動態について理解する。
2	10	4	金	2	薬剤の適用方法・影響を与える要因・副作用・薬物の有害	適正方法を類別し、特徴を説明できる。薬効に影響する因子・副作用について説明できる。
3	10	11	金	2	医薬品を適用する際の注意・薬物の取り扱い・薬物と法律	薬物の有害作用について説明できる。医薬品を使用する際の注意点を理解する。
4	10	18	金	2	総論の復習・ビタミン・ホルモン	薬理学総論を総復習・ビタミン・ホルモンについて理解する。
5	11	1	金	2	末梢神経・中枢神経に作用する薬物	神経伝達メカニズム・作用する薬物について理解する。
6	11	15	金	2	循環器系・腎臓に作用する薬物	循環器・腎臓に関わる薬物について薬理作用と病態メカニズムを関連づけて説明できる。
7	11	22	金	2	呼吸器・消化器系・血液系に作用する薬物	呼吸器・消化器系・血液系に関わる薬物について薬理作用と病態メカニズムを関連づけて説明できる。
8	11	29	金	2	局所麻酔について・炎症と薬	局所麻酔薬を分類分けを理解する。抗炎症薬について作用機序を説明できる。
9	12	6	金	2	抗感染症薬について	抗感染症薬の作用機序について説明できる。
10	12	13	金	2	総論・血液系・抗炎症より練習問題を解く	国家試験に向けて実際に問題を解いていきます。知識をどのようにアウトプットするのか体
11	1	10	金	2	代謝性疾患治療薬	糖尿病・骨粗鬆症治療薬の作用機序について説明できる。
12	1	17	金	2	免疫と薬・悪性腫瘍と薬	免疫・悪性腫瘍に関わる薬物の作用機序について説明できる。
13	1	24	金	2	消毒薬に使用する薬・う蝕予防薬	消毒薬・う蝕予防薬の作用機序について説明できる。
14	1	31	金	2	歯内療法薬について	歯周病・顎・口腔粘膜疾患の医薬品について理解する。
15	2	7	金	2	歯周病患者治療薬について・顎・口腔粘膜疾患と薬	歯周病・顎・口腔粘膜疾患の医薬品について理解する。
	2	20	木	2	テスト	
評価基準					教科書	参考書
筆記試験	100 %	医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 3 薬理学			薬剤師国家試験対策マニュアル【虹本】薬理学 薬物動態学・病理病態学	

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(13:00~14:30)

4限目(14:40~16:10)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	口腔衛生学				学年	1年	期生
担当者					期別	通年	
単位数	3単位				講義・実習	講義	
時間数・授業回数	22時間・11回				専任・兼任	兼任	
実務経験	歯科大学の教員として附属病院での臨床経験および県庁での勤務経験を活かして講義内容に反映						
一般目標 (GIO)							
口腔の健康を保持増進させる理論と方法を理解し、口腔疾患の予防法を習得する。これらの知識を活かして専門家としての基本的な口腔保健管理を実践できるようになる。							
回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標 (SBOs)	
1	5	14	火	3	Ⅱ編1章 総論	歯と歯周組織の構造と働きを説明できる。	
2				4	〃	歯・口腔の付着物・沈着物を説明できる。	
3	5	28	火	3	Ⅱ編3章 口腔清掃	口腔清掃法の種類を説明できる。	
4				4	〃	歯磨剤および洗口剤の種類を説明できる。	
5	6	11	火	3	Ⅱ編2章 歯科疾患の疫学	う蝕の疫学的特性を概説できる。	
6				4	〃	歯周疾患の疫学的特性を概説できる。	
7	6	14	金	4	Ⅱ編4章 う蝕の予防	う蝕発生のメカニズムについて説明できる。	
8	6	18	火	3	Ⅱ編4章 う蝕の予防	う蝕発生要因に対する予防法を説明できる。	
9				4	I-1 総論	健康の定義と国民の権利について説明できる。 予防医学の概念を説明できる。	
10	7	2	火	3	I-2 疫学	疫学研究の方法をそれぞれ理解できる。	
11			火	4	I-3 人口	人口統計における静態および動態統計について説明できる。	
	7	29	月	2	テスト		
筆記試験							
平常点				%	医歯薬出版 保健生態学 第3版		
				%			
				%			
				%			

1限目 (9:00~10:30)

2限目 (10:40~12:10)

3限目 (13:00~14:30)

4限目 (14:40~16:10)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	口腔衛生学	学年	1 年 期生
担当者		期別	通年
単位数	3 単位	講義・実習	講義
時間数・授業回数	24時間・12回	専任・兼任	兼任

実務経験

大学病院での勤務経験を有する歯科医師が、臨床現場での経験を踏まえ、口腔の健康と予防について基礎を学ぶ授業を担当する。

一般目標(GIO)

歯・口腔の機能維持・増進について理解し、個人や集団を対象とした口腔保健管理と予防について知識を修得する。

回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	9	27	金	3	Ⅱ編5章 フッ化物によるう蝕予防法	フッ化物の毒性を認識し、正しい対処法を理解できる。
2				4	〃	フッ化物応用によるう蝕予防メカニズムを説明できる。
3	10	4	金	3	Ⅱ編6章 歯周疾患の予防	歯周疾患の種類と原因を説明できる。
4				4	〃	歯周疾患の予防と治療における処置を説明できる。
5	10	11	金	3	Ⅱ編7章 その他の疾患・異常の予防	口内炎、口腔癌、不正咬合、顎関節症についてそれぞれ要因・予防法を述べる。口臭の分類・原因物質・予防法を述べる。
6				4	Ⅱ編8章 ライフステージごとの口腔保健管理	母子口腔保健・成人期・老年期における口腔保健管理の特徴を述べる。
7	11	1	金	3	I編4章 健康と環境	環境の概念を理解し、地球環境の変化と健康への影響を述べる。
8				4	〃	感染物処理の概念を理解し、バイオハザードマークを分類、説明する。
9	11	15	金	3	I編5章 感染症	感染成立の3要因を述べ、感染症予防の概念を説明する。
10				4	〃	主な感染症について、感染経路・特徴を述べる。
11	11	29	金	3	I編6章 食品と健康	食中毒を分類し、それぞれの特徴を述べる。食事バランスガイドについて図示し、説明する。
12				4	これまでの復習・まとめ	これまでの授業内容に沿った小テストを実施、自身の理解度を把握する。
	2	20	木	3	テスト	
筆記試験				80%	医歯薬出版 保健生態学 第3版	
平常点				20%		
				%		
				%		

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(13:00~14:30)

4限目(14:40~16:10)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	衛生行政・社会福祉		学 年	2 年 期生		
担当者			期 別	前期		
単 位 数	2単位		講義 ・ 実習	講義		
時間数・授業回数	2時間×15回		専任 ・ 兼任	兼任		
実務経験	2012～2017年美容専門学校・衛生管理、夏季国試対策講師。2015年～2022年専門学校・口腔生理学、直前国試対策講師。2002年～歯科医院 院長。					
一般目標 (GIO)						
医療（歯科医療）は法のもとに行う必要がありますが、教科書に掲げられた「保健・医療・福祉の制度」はその基礎となります。この授業ではそれらに関する多くの法律や制度を学びます。その学びは時代の流れにより最新の知見を学ぶことが重要であるため、最新版の教科書は大変役立つものになります。そしてそれらの知識は実際に歯科衛生士業務を行うまでに学んでおく必要があります。また一社会人として知っておく必要があるものです。現段階ではそのように基礎知識の見聞、習得を行っていきませんが、国家試験対策として過去問題にも触れ、慣れるように授業を進めていきます。						
回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標 (SBOS)
1	4	12	金	2	1章わが国の医療制度と歯科衛生士 P1-13	保健・医療・福祉の制度を学修する目的を説明でき、歯科衛生士の専門性と就業人数とその増加の理由が説明できる
2	4	19	金	3	同 P14-31	歯科医師法・歯科衛生士の法、定義と業務を説明できる
3	5	10	金	3	同 P32-43	免許の交付、届出・歯科衛生士名簿の登録について理解できる
4	5	17	金	3	同 P44-52	歯科衛生士国家試験、業務と責務を説明できる
5	5	24	金	3	同 P53-57	歯科技工法について理解できる 小テスト①
6	6	7	金	3	2章医療関係職種P58-66	歯科医師の指示で歯科診療の補助を行う医療関係職種をあげることができ、保健師助産師看護師の業務の概要、それらの法について理解できる
7	6	14	金	3	同 P67-76	臨床検査技師等の業務の概要、それらの法について理解できる
8	6	21	金	3	3章その他関係法規P78-9	地域包括ケアシステムの定義と植木鉢の図が説明でき法規を概説できる
9	6	28	金	3	同 P90-98	歯科口腔保健の推進に関する法律を理解できその他衛生法規を概説できる
10	7	5	金	3	同 P98-103	薬事に関する法規を理解できる 小テスト②
11	7	12	金	2	4章社会保障P104-115	憲法25条で示す社会保障が列挙でき医療・介護保険について概説できる
12	9	13	金	2	同 P115-127	年金保険、労働法規・労働保険について概説できる
13	9	20	金	2	同 P127-141	歯科雇用保険、労災保険、歯科衛生士に関する社会福祉について概説できる
14	9	27	金	2	5章医療の動向P143-152	国民の受療状況、歯科診療所数推移、歯科医療従事者数推移、国民医療費、歯科診療医療費の推移について説明できる
15	10	4	金	2	1-14回補足とまとめ	1-14回授業の予備・補足 小テスト③
	10	29	火	2	定期テスト	
評価基準			教科書			参考書
筆記試験	100	%	歯科衛生学シリーズ			
平常点		%	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み2保健・医療・福祉の制度			
		0%				
		0%	(医歯薬出版)			

1限目 (9:00～10:30)

2限目 (10:40～12:10)

3限目 (13:00～14:30)

4限目 (14:40～16:10)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	歯科衛生士概論				学年	1 年 期
担当者					期別	前期
単位数	1単位				講義・実習	講義
時間数・授業回数	2 時間 × 8 回				専任・兼任	兼任
実務経験	歯科衛生士学校勤務や保健所等地域活動の経験を持つ歯科衛生士が、歯科衛生活動のための医療倫理や歯科衛生士の役割について講義をする					
一般目標(GIO)						
保健・医療・福祉に関わることの意義を見つけ、専門職として必要なことや対象者のニーズの把握、倫理的な視点かつ科学的根拠をもち歯科衛生活動を展開するために必要とされる専門知識や技術ならびに態度を身につける。						
回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	19	金	3	歯科衛生学とは	歯科衛生の活動の対象や領域を理解する
2	5	24	金	3	歯科衛生の歴史	歯科衛生の誕生から歯科衛生の発展、業務について理解する
3	5	31	金	3	歯科衛生活動のための理論	歯科衛生の考え方や科学的思考を知ることができる
4	6	7	金	3	歯科衛生過程①	歯科衛生過程の活用を理解する
5	6	14	金	3	歯科衛生過程②	歯科衛生過程の流れを理解する
6	6	26	水	3	歯科衛生士法と歯科衛生業務	歯科衛生士法や業務を述べることができる
7	7	5	金	2	歯科衛生士と医療倫理	理論の必要性、インフォームド・コンセント、セカンドオピニオンを述べるができる
8	7	12	金	2	歯科衛生士の活動と組織	歯科衛生活動の場、組織を述べるができる
	7	30	火	3	テスト	
評価基準				教科書		参考書
筆記試験		80%	歯科衛生学シリーズ 歯科衛生士教本 歯科衛生学総論			
小テスト		20%				

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	医療倫理学		学年	1 年 期生			
担当者			期 別	前期			
単 位 数	1 単 位		講義 ・ 実習	講義			
時間数・授業回数	2 時間× 8 回		専任 ・ 兼任	兼任			
実務経験	1982年4月から1994年3月まで、大学歯学部において文部教官として教育・臨床・研究に携わった。 1994年4月から2017年3月まで、県の公衆衛生行政に携わった。						
一般目標 (GIO)							
<p>「倫理学」は、私たちが一人の人間として社会の中でより良く生きてくための必修科目です。そのことを理解した上で、医療倫理に焦点を絞り、その成り立ちや基本的な考え方について学習します。</p> <p>また、20世紀後半の医療技術の急速な進歩は新たな社会問題を引き起こしました。その中からいくつかの事例について考えてみましょう。</p> <p>講義では、テーマを出しますので、あなたの考えをレポートとして提出していただきます。人は、それぞれ社会背景や立場が異なりますので思考過程も様々ですし、結論も異なるかもしれません。しかし、考えることそのものが「倫理学する」ことであり考え続けることに意義があります。</p> <p>私たちが、行動を起こす時、何かを考える時、必ず「倫理学する」習慣を身につけましょう。</p>							
回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標 (SBOS)	
1	4	23	火	2	倫理学すること	「倫理学する」習慣の必要性を理解する。	
2	4	30	火	2	新しい医療倫理	医療倫理の歴史について学習する。	
3	5	14	火	2	正義と医療	正義のパターンを理解し活用できるようになる。	
4	5	21	火	2	患者中心の医療とは	生命倫理の四原則について学習する。	
5	6	4	火	2	インフォームド・コンセント	成り立ちと意義について理解する。	
6	6	11	火	2	インフォームド・コンセント	具体的な事例について学習する。	
7	7	2	火	2	生殖医療と倫理	新型出生前診断について考える。	
8	7	16	火	2	終末期医療と倫理	延命治療について考える。	
	7	29	月	3	テスト		
評価基準						教科書	参考書
筆記試験	70	%			歯科衛生学シリーズ 歯科医療倫理学 (医歯薬出版)	医療倫理学のABC 第4版 (メヂカルフレンド社)	
平常点		%				ふだんづかいの倫理学 (平尾昌宏、晶文社)	
レポート	30	%					
		%					

1限目 (9:00~10:30) 2限目 (10:40~12:10) 3限目 (13:00~14:30) 4限目 (14:40~16:10)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	歯科臨床概論			学年	1 年	期生
担当者				期別	前期	
単位数	1 単位			講義・実習	講義	
時間数・授業回数	2 時間× 8 回			専任・兼任	兼任	
実務経験	大学での学生教育経験を有する教員が、基本的な歯科の知識と、歯科衛生士の役割に関する授業を行う。					
一般目標 (GIO)						
<p><b>【概要】</b> 歯科衛生士として、保健・医療・福祉に関わることの意義を知る。また、専門職として求められていること、歯科衛生士業務の重要性を学び、今後の専門的授業に向けての基礎知識を習得する。</p> <p><b>【目標】</b> ・一般的な歯科臨床の流れ、ならびに歯科衛生士の業務内容の要点を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科専門領域の基本的用語を学び、歯、口腔の健康と疾患、異常について理解する。</li> <li>・多職種と連携して医療を行う重要性、ならびに医療人としての心構えを身につける。</li> </ul>						
回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標 (SBOs)
1	5	21	火	3	歯科診療とは	社会に求められている歯科の役割について説明する。
2	5	21	火	4	歯科診療所・歯科診療所における業務	歯科衛生士のプロフェッショナリズムについて説明し、必要なコミュニケーション技法を述べる。
3	6	4	火	3	ライフステージと歯科診療・歯科診療で行うこと	各ライフステージにおける歯科の関わり方を列記する。
4	6	4	火	4	小児歯科・矯正歯科	小児に対する保健指導や診療の特徴について説明する。不正咬合の特徴、矯正装置の必要性ならびに概要について述べる。
5	6	25	火	3	歯科保存	う蝕の発生要因と発生機序を説明し、歯科保存分野における様々な治療方法を分類する。
6	6	25	火	4	歯周治療	歯周疾患を分類し、歯周疾患の発生要因とリスクファクターを列挙できる。
7	7	9	火	3	口腔外科・歯科補綴	口腔外科分野での治療の流れを記述する。歯科補綴の概要、固定性ならびに可撤性補綴装置の治療の流れについて説明する。
8	7	9	火	4	障害者歯科・高齢者歯科	スペシャルニーズが必要な患者の治療の重要性と、医療人として必要な配慮を述べる。高齢者の口腔衛生管理について理解し、評価方法や管理方法を述べることができる。
	7	30	火	1	テスト	
評価基準				教科書		参考書
筆記試験	100	%	医歯薬出版株式会社「歯科衛生士のための歯科臨床概論」第2版		クインテッセンス出版株式会社「日常臨床&チーム医療に活かせる 歯科衛生士臨床ビジュアルハンドブック」	
		%				
		%				
		%				

1限目 (9:00~10:30)

2限目 (10:40~12:10)

3限目 (13:00~14:30)

4限目 (14:40~16:10)

## 九州医療専門学校 歯科衛生歯科

科目名	歯科保健指導論Ⅲ			学年	2 年
担当者				期別	前期
単位数	1 単位			講義・実習	講義
時間数・授業回数	2 時間 X 8 回			専任・兼任	専任
実務経験					
一般目標 (GIO)					
回数	月	日	限目	項目	行動目標 (SBOs)
1				歯科衛生過程の進め方 概要	歯科衛生過程の思考プロセス
2				歯科衛生アセスメント	歯科衛生上の問題解決に必要な情報を見出すことができる
3				歯科衛生診断	診断句、原因句に分けて歯科衛生診断文の作成ができる
4				歯科衛生計画	短期目標と長期目標の歯科衛生計画立案を作成できる
5				歯科衛生介入(実施)	立案した計画の実施ができる
6				歯科衛生評価・記録	歯科衛生介入におけるアウトカム評価ができる
7				症例別歯科衛生過程①	グループワークの発表①
8				症例別歯科衛生過程②	グループワークの発表②
評価基準			教科書		参考書
筆記試験	100%				



令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	保存修復学	学年	1 年 期生
担当者		期 別	後期
単位数	2 単 位	講義・実習	講義・実習
時間数・授業回数	2時間×15回	専任・兼任	兼任
実務経験	大学歯学部での学生への講義、実習、大学病院での歯科治療の経験がある。		

一般目標(GIO)

本科目は、患者QOL向上のために残存歯の機能回復および審美性回復を目的とした保存修復治療の実践能力を習得するために、講義および模型実習を通じてその内容を理解し、チームアプローチを実践するために必要な知識および能力を身につける。

回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	9	26	木	3・4	保存修復の概要	保存修復学で扱う疾患を説明する。 う蝕の発症要因と進行を説明する。 歯の欠損の修復方法と、用いる器材を説明する。
2	9	30	月	3・4	直接法修復	コンポジットレジン組成、種類を説明する。 コンポジットレジン修復、グラスアイオノマーセメント修復の特徴、適応症、手順を説明する。
3	10	3	木	3・4	歯の漂白	歯の漂白法の適応症と禁忌症を説明する。 歯の漂白法の種類と特徴を説明する。 歯の漂白に用いる器材・薬剤を説明する。
4	10	7	月	3・4	間接法修復	インレー修復、アンレー修復の特徴を説明する。 各種インレー修復の特徴、手順を説明する。 合着材および接着材の特徴を説明する。
5	10	21	月	3・4	補修修復	補修修復の意義、適応症、手順を説明する。 再研磨の適応症、手順を説明する。
6	11	25	月	3・4	コンポジットレジン修復実習 (5級窩洞) (実験室)	5級窩洞コンポジットレジン修復におけるチームアプローチを実践する。
7	12	12	木	3・4	隔壁実習 (実験室)	直接法修復に必要な隔壁装着を実践する。
8	1	9	木	3	保存修復における歯科衛生士の役割	保存修復治療に使用する材料・薬剤の管理について説明する。保存修復治療における患者への指導について説明する。
	2	21	金	2	テスト	

評価基準		教科書	参考書
筆記試験	80 %	医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学	
平常点	10 %		
レポート等	5 %		
小テスト	5 %		

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(13:00~14:30)

4限目(14:40~16:10)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	歯内療法学			学年	1年	期生
担当者				期別	後期	
単位数	1単位			講義・実習	講義	
時間数・授業回数	2時間 × 8回			専任・兼任	兼任	
実務経験	歯科大学附属病院及び開業医で合計39年間の治療経験がある。					
一般目標 (GIO)						
<p>歯内療法学は臨床歯学の根幹となる重要な一分野であり、歯の硬組織、歯髄ならびに根尖歯周組織疾患の原因、症状、診断および治療法を理解する。これにより、歯の機能を保持し、口腔ならびに全身の健康維持に寄与することを認識する。</p>						
回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標 (SBOs)
1	10	17	木	3	硬組織疾患と歯髄疾患	硬組織疾患と歯髄疾患の原因と症状を列記し、診断および治療法について説明できる。
2	11	21	木	3	〃	〃
3	11	27	水	1	根尖歯周組織疾患	根尖歯周組織疾患の原因と症状を列記し、診断および治療法について説明できる。
4	11	28	木	3	〃	〃
5	1	22	水	4	根管治療と根管充填	根管治療と根管充填の術式および使用器具について説明できる。
6	1	23	木	3	〃	〃
7	1	28	火	2	外科的歯内療法	外科的歯内療法の種類を列記し、治療法および使用器具について説明できる。
8	2	12	水	3	〃	〃
	2	21	金	3	テスト	
評価基準				教科書		参考書
筆記試験				%	歯科衛生学シリーズ保存 修復学・歯内療法学  医歯薬出版	
平常点				%		
				%		
				%		

1限目 (9:00～10:30)

2限目 (10:40～12:10)

3限目 (13:00～14:30)

4限目 (14:40～16:10)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	歯周治療学			学年	2年	期生
担当者				期別	前期	
単位数	2単位			講義・実習	講義	
時間数・授業回数	2時間×15回			専任・兼任	兼任	
実務経験	歯周治療の実務経験を有する教員(歯科医師)が、歯周病及び歯周治療の内容を講義し、それに関わる衛生士業務を学ぶ講義を担当する。					
一般目標(GIO)						
臨床に直結する歯周治療の基礎知識を習得する。 正常歯周組織を把握したうえで、歯周病の病態を理解する。 歯周治療における歯科衛生士としての業務を理解する。 歯周病と全身疾患との関連性について理解し、患者に解りやすく説明できるようにする。						
回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	10	水	1	歯周病と歯周治療の概要	歯周病と歯周治療の概要を述べる
2				2	正常歯周組織の構造 歯周疾患の分類	正常歯周組織の構造を図示して、記述する 歯周疾患を分類できる
3	4	24	水	3	リスクファクターと歯周病と 全身疾患との関連性	歯周病のリスクファクターを説明する 歯周病と全身疾患を関係づける
4				4	歯周治療の流れ	歯周治療の流れを説明する
5	5	8	水	1	歯周組織検査	歯周組織検査を述べる
6				2	歯周基本治療	歯周基本治療を列記する
7	5	15	水	1	〃	歯周基本治療を説明する
8				2	口腔衛生指導とSRPの実際	口腔衛生指導の内容を示す
9	5	22	水	1	〃	SRPのやり方を示す
10				2	歯周外科手術	歯周外科手術の種類を列記する
11	6	12	水	1	〃	歯周外科手術で使用する器具を示す
12				2	歯周形成外科治療	歯周形成外科を説明する
13	6	19	水	3	根分岐部病変	根分岐部病変の検査と治療を説明する
14				4	歯内歯周病変	歯内歯周病変を説明する
15	7	3	水	4	口腔機能回復治療、メインテナンスとSPT	メインテナンスとSPTの内容を列記する
	7	17	水	1	テスト	
評価基準				教科書		参考書
筆記試験				100%	歯科衛生学シリーズ 歯周病学 医歯薬出版	新版最新歯周病学 医歯薬出版
				%		歯科衛生士のためのポケット版 最新歯科用語辞典 クインテッセンス出版
				%		

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(13:00~14:30)

4限目(14:40~16:10)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	歯科補綴学	学年	2年 期生
担当者		期別	前期
単位数	2 単位	講義・実習	講義
時間数・授業回数	4時間× 8回	専任・兼任	兼任
実務経験	歯科医師の資格を有する教員が、補綴歯科学について指導する。		

一般目標(GIO)

歯科補綴学の概要を理解する上で必要な基礎知識事項を理解し、補綴歯科治療の実際を修得することである。  
また、知識を習得した上で、補綴歯科治療における歯科衛生士の位置づけを理解し、その重要な役割を認識させ目標とする。

概要:補綴歯科治療に関する基礎知識、そして治療の実際を習得することである。

また、知識を習得した上で、補綴歯科治療における歯科衛生士の位置づけを理解し、その重要な役割を認識させ目標とする。

回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	15	月	3	補綴歯科治療に関する基礎知識	歯科補綴学に必要な顎口腔機能を説明する。
2				4	〃	〃
3	4	22	月	3	歯の欠損に伴う障害と補綴歯科治療	高齢者の特徴を理解し、歯の欠損による顎口腔機能の変化について説明する。
4				4	〃	〃
5	5	13	月	3	補綴装置の種類とその構造	補綴装置の臨床的意義について、それぞれの種類・特徴の概要を説明する。
6				4	〃	〃
7	5	20	月	3	補綴歯科治療における検査・診断-歯科衛生士の役割	補綴治療に必要な検査・診断方法について説明できる。
8				4	〃	〃
9	5	27	月	3	クラウン・ブリッジの治療の実際-歯科衛生士の役割	クラウン・ブリッジの種類を学び、その特徴と適応症、臨床手順・方法を説明する。
10				4	〃	〃
11	6	10	月	3	有床義歯治療の実際-歯科衛生士の役割	有床義歯の種類を学び、その特徴と適応症、臨床手順・方法を説明する。
12				4	〃	〃
13	6	17	月	3	インプラント治療の実際-歯科衛生士の役割	欠損補綴におけるインプラント治療の位置付けを説明する。インプラント治療の概要を説明する。
14				4	〃	〃
15	7	1	月	3	患者指導・器材の管理	患者に対する各補綴処置後の指導方法などについて説明する。
	7	17	月	2	テスト	
筆記試験				100 %	医歯薬出版 歯科補綴	
平常点				%		
				%		

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(13:00~14:30)

4限目(14:40~16:10)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	歯科矯正学	学年	2 年 期生
担当者		期 別	前期
単 位 数	2単位	講義・実習	講義
時間数・授業回数	2時間 × 15回	専任・兼任	兼任
実務経験	歯科大学歯学部歯学科および短期大学衛生学科の講義・臨床実習を行い、また歯科大学医科歯科総合病院での矯正歯科治療を行っている教員が、歯科衛生士として必要な歯科矯正学についての講義を行う。		

一般目標(GIO)

目的: 歯科矯正学における基礎的知識および臨床的技術、知識の理解を行い、不正咬合に対する保健活動、最新の矯正治療について講義する。

目標: 歯科矯正学の基礎、臨床項目の理解、歯科矯正学に興味をもってもらおう。

回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	16	火	3	第1章 正歯科治療の概要 I 編 矯正歯科治療に関する基礎知識	矯正治療の目的と意義について理解する。
2				4	第2章 成長発育	頭蓋顎顔面の成長発育について理解する。
3	4	23	火	3	第3章 正常咬合と不正咬合 ① 正常咬合	正常咬合の概念および成立の条件について理解する。
4				4	第3章 正常咬合と不正咬合 ② 不正咬合	不正咬合の定義について述べる事が出来る。不正咬合の分類法の種類と定義を理解する。
5	4	30	火	3	第4章 矯正歯科診断	矯正診断の過程を把握する。
6				4	第5章 矯正歯科治療と力	矯正力の性質と固定について理解する。
7	5	14	火	3	第6章 矯正装置 II 編: 矯正歯科治療の実際 第1章	矯正治療に使用する装置について装置の構造と適応症について理解する。
8				4	第6章 矯正装置 II 編: 矯正歯科治療の実際 第2章	矯正治療に使用する装置について装置の構造と適応症について理解する。
9	5	21	火	3	第3章 成人矯正、第4章 口腔顎顔面の形成異常と変形	成人矯正および外科的矯正治療について理解する。
10				4	III 編: 第1章 矯正歯科診断にかかわる業務	矯正診断の過程を理解し、業務内容を理解する。
11	6	11	火	3	第2章 矯正歯科診療時の業務	矯正歯科治療に用いる器材の種類と用途を理解する。
12				4	第3章 矯正歯科患者と口腔保健管理	矯正治療に使用する装置の装置の構造と適応症を把握し、口腔保健管理について理解する。
13	6	18	火	3	模型・セファロ分析	矯正診断に用いるセファロ分析の意義について理解する。
14				4	矯正治療の基本手技、矯正装置の取り扱いについて	矯正治療に使用する装置について装置の構造と適応症について理解し、指導内容を把握する。
15	6	25	火	3	第4章 口腔筋機能療法	口腔習癖と口腔筋機能療法について理解する。
	7	17	水	3	テスト	
評価基準					教科書	参考書
筆記試験	100%	医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 歯科矯正学				医歯薬出版 矯正歯科学 第6版
平常点	%					

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(13:00~14:30)

4限目(14:40~16:10)

科目名	口腔外科学	学年	1 年
担当者		期別	前期
単位数	2 単位	講義・実習	講義
時間数・授業回数	4時間 × 8回	専任・兼任	兼任

実務経験 歯科医師 大学病院歯科口腔外科学講座にて勤務

一般目標 (GIO)

口腔・顎顔面領域における各種疾患及び口腔に関連した全身疾患について、基本的な知識を学習し、患者の全身状態を考慮した歯科治療を介助する上で必要な知識を理解する。全身状態の管理を含めた麻酔学と救急蘇生についても学習する。また、口腔外科学診療に際して求められる知識の習得を目標とする。

回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標 (SBOs)
1					総論 歯科疾患と関連する全身疾患を中心に口腔外科一般について	歯科疾患と関連する全身疾患に関して理解する。
2					顎・口腔領域の先天異常と発育異常 歯の異常、口腔軟組織の先天異常、唇裂・口蓋裂、顎の先天異常と変形について	顎・口腔領域の先天異常と発育異常について理解する。
3					顎・口腔領域の損傷および機能障害 歯の外傷、顎骨骨折、軟組織の損傷について	顎・口腔領域の損傷および機能障害について理解する。
4					口腔粘膜の病変(1) 水疱形成、紅斑およびびらん、潰瘍、白斑、色素沈着、それぞれを主徴とする疾患、その他について	口腔粘膜の病変に関して理解し、その特徴を述べることができる。
5					口腔粘膜の病変(2) 粘膜の出血および貧血を主徴とする疾患について	口腔粘膜の病変に関して理解し、その特徴を述べることができる。
6					顎・口腔領域の化膿性炎症疾患 歯周組織の炎症、顎骨および顎骨周囲組織の炎症について	顎・口腔領域の化膿性炎症疾患について理解する。
7					顎・口腔領域の嚢胞性疾患 顎骨内に生じる嚢胞、軟組織に生じる嚢胞について	顎・口腔領域の嚢胞性疾患について理解する。
8					顎・口腔領域の腫瘍および腫瘍類似疾患 歯源性腫瘍、非歯源性腫瘍、非歯源性悪性腫瘍前癌病変について	顎・口腔領域の腫瘍および腫瘍類似疾患について理解する。
9					唾液腺疾患 炎症を生じる唾液腺疾患、唾液腺腫瘍などについて	唾液腺疾患について理解する。
10					口腔領域の神経疾患 顎関節疾患 神経痛、神経麻痺および顎関節症などの顎関節疾患について	口腔領域の神経疾患 顎関節疾患 神経痛、神経麻痺および顎関節症について理解する。
11					歯科治療における歯科麻酔と患者管理、局所麻酔、精神鎮静法 全身状態の評価と患者管理および局所麻酔、精神鎮静法について	歯科治療における歯科麻酔と患者管理、局所麻酔、精神鎮静法 全身状態の評価と患者管理について知る
12					全身麻酔、救急蘇生法 全身麻酔および救急蘇生の ABC について	全身麻酔、救急蘇生法 全身麻酔および救急蘇生について知る
13					口腔外科診療の実際(1)(口腔外科治療の流れ、診察と診断 他) 口腔外科治療の流れ、診察と診断、清潔と不潔、創傷の処置について	口腔外科治療の流れ、清潔と不潔、創傷の処置について理解する。
14					口腔外科診療の実際(2)(抜歯術、歯根端切除術) 抜歯術、歯根端切除術などの口腔外科小手術について	口腔外科小手術について知る。
15					口腔外科診療の実際(3)(口腔外科小手術、止血、縫合処置) 良性腫瘍摘出術、歯槽骨整形術、小帯切除術 口腔	口腔外科小手術および止血処置、縫合処置について知る。
16					口腔外科・歯科麻酔の臨床における歯科衛生士のかかわりと口腔外科で用いる機材について	口腔外科・歯科麻酔の臨床における歯科衛生士のかかわりと口腔外科で用いる機材について理解する。
評価基準					教科書	参考書
筆記試験	80	%	最新歯科衛生士教本 口腔外科学			
平常点	20	%	全国歯科衛生士教育協議会 監修			
		%				

1限目 (9:00~10:30)

2限目 (10:40~12:10)

3限目 (13:00~14:30)

4限目 (14:40~16:10)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	先端医療学		学年	2 年 期生			
担当者			期 別	後期			
単 位 数	1 単 位		講義・実習	講義			
時間数・授業回数	2 時間× 8 回		専任・兼任	兼任			
実務経験	日本口腔インプラント学会員。本校の歯科技工士科で15年以上の非常勤講師の経験と、開業して32年歯科医院での臨床経験がある講師が講義する。						
一般目標 (GIO)							
本科目は、インプラント治療に関する理論や根拠を学び、その手術を理解して患者への安心、安全なインプラント治療を提供する知識、手順身につける。							
回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標 (SBOs)	
1	9	12	木	1	インプラント治療のアシスタントワークからメンテナンスまで	インプラントに関する基礎知識を説明することができる	
2				2	”	術前の消毒・滅菌・ドレーピングを説明することができる	
3	10	3	木	1	”	術後の患者対応・医療サイド編を理解することができる	
4				2	”	術後の患者対応・患者サイド編を理解することができる	
5	10	10	木	1	インプラント手術編	インプラント埋入手術を理解することができる	
6				2	”	骨補填材について説明することができる	
7	10	24	木	1	インプラント補綴処置編	補綴処置・セメント固定を理解することができる	
8				2	”	補綴処置・スクリュー固定を理解することができる	
	10	29	火	3	テスト		
評価基準						教科書	参考書
筆記試験	100%		みるみる理解できるインプラント入門				
	%		(クインテッセンス出版)				
	%						

1限目 (9:00~10:30)

2限目 (10:40~12:10)

3限目 (13:00~14:30)

4限目 (14:40~16:10)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	小児歯科学			学年	1 年 期生	
担当者				期別	後期	
単位数	2 単 位			講義・実習	講義	
時間数・授業回数	2 時間× 15 回			専任・兼任	兼任	
実務経験 大学病院で実務経験のある教員が、小児歯科の講義を行う。						
一般目標(GIO)						
本科目は、根拠や理論に基づいた小児歯科の実践能力を安全・的確に修得するためにその習得に必要な要素である小児歯科学の基礎と臨床を理解し、小児患者の治療時に必要な知識を身につける。						
回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	10	1	火	1	小児歯科とは・心身の発育	小児歯科の目的と特徴を述べる。
2				2	〃	小児の発育について述べる。
3	10	15	火	1	小児の生理学的特徴・顔面頭蓋の発育	小児の生理的特徴について述べる
4				2	〃	小児の顔面頭蓋の発育について述べる。
5	10	22	火	1	歯の発育とその異常・歯列咬合の発育と異常	小児の歯の発育について述べる。
6				2	〃	小児の歯の発育異常について述べる。
7	11	13	水	3	小児の歯科疾患・小児期の特徴と歯科的問題点	小児の歯列咬合の発育と異常について述べる。
8				4	〃	小児のう蝕について述べる。
9	11	20	水	3	小児歯科における治療体系	小児のう蝕予防について述べる。
10				4	〃	小児の歯周疾患と軟組織疾患について述べる。
11	12	3	火	1	小児歯科における治療体系	小児患者の対応法について述べる。
12				2	〃	小児の歯冠修復について述べる。
13	12	10	火	1	小児歯科における治療体系	小児の歯内治療について述べる。
14				2	〃	小児の外科処置、歯の外傷について述べる。
15	12	17	火	1	小児歯科における治療体系	小児の咬合誘導について述べる。
	2	26	水	2	テスト	
評価基準				教科書		参考書
筆記試験	100%	%	医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 小児歯科学			
		%				

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(13:00~14:30)

4限目(14:40~16:10)



令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	高齢・障害者歯科疾患論			学年	2 年 期生		
担当者				期 別	前期		
単位数	2 単 位			講義・実習	講義		
時間数・授業回数	2 時間× 15 回			専任・兼任	兼任		
実務経験	H3～H24年まで歯科大学にて高齢・障害者歯科疾患の講義・実習・研究を行い、H24～開業、現在は市の介護認定審査員を有する教員が、歯科衛生士に必要な高齢障害者歯科疾患についての講義を行う。						
一般目標 (GIO)							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者と障害者の現状を説明できる。障害の種類を説明できる。</li> <li>・加齢による身体的・精神的変化と疾患および口腔疾患について説明できる。</li> <li>・高齢者と障害者の口腔ケアに対応できる。</li> <li>・摂食・嚥下リハビリテーションを理解し対応できる。</li> </ul>							
回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標 (SBOs)	
1	4	23	火	1	高齢社会と健康 高齢者にかかわる法制度	高齢社会について説明できる。 介護保険制度について説明できる。	
2				2	高齢者の特性(加齢変化)	高齢者の身体機能の老化について説明できる。 加齢に伴う各器官、各組織の老化について説明できる。	
3	4	30	火	1	障害の概念	障害者の概念について説明できる。ICF、QOL、ノーマライゼーション、バリアフリーについて説明できる。	
4				2	障害の種類と歯科的特徴(1)	精神遅滞(知的障害)を説明できる。 ダウン症候群と発達障害を説明できる。	
5	5	7	火	1	高齢者の疾患	高齢者に多い疾患の種類と症状について説明できる。	
6				2	口腔の加齢と老化	口腔領域の加齢変化と高齢者特有の口腔疾患について説明できる。	
7	5	21	火	1	障害の種類と歯科的特徴(2)	発達障害、脳性麻痺、筋ジストロフィー、ALSを説明できる。 パーキンソン、てんかんと重症心身障害について説明できる。	
8				2	障害者の歯科医療と行動調整	障害者歯科医療の注意点と行動療法について説明できる。	
9	6	11	火	1	高齢者の臨床評価	高齢者の状態を把握するのに必要な検査を説明できる。	
10				2	高齢者の歯科医療と全身管理	高齢者歯科医療の注意点と全身管理について説明できる。	
11	6	25	火	1	障害者歯科医療における医療安全管理と感染予防対策	障害者歯科医療における医療安全管理と感染予防対策について説明できる。	
12				2	障害者の口腔衛生管理	障害者に対する口腔ケアと口腔衛生管理について説明できる。	
13	7	2	火	1	高齢者への口腔ケア	要介護高齢者への口腔ケアと誤嚥性肺炎について説明できる。	
14				2	訪問診療	訪問診療の注意点と他職種連携について説明できる。	
15	7	9	火	1	摂食嚥下リハビリテーション	摂食嚥下のメカニズムと評価方法、嚥下訓練の種類と方法について説明できる。	
	7	18	木	1	テスト		
評価基準				教科書		参考書	
筆記試験				90%	高齢者歯科学		
平常点				10%	障害者歯科学		
				%	医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ		
				%			

1限目(9:00～10:30)

2限目(10:40～12:10)

3限目(13:00～14:30)

4限目(14:40～16:10)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	歯科口腔放射線論	学年	2年 期生
担当者		期別	前期
単位数	2 単位	講義・実習	講義・実習
時間数・授業回数	2時間× 8回	専任・兼任	兼任
実務経験	大学での画像診断学の講義・実習を経験する教員が歯科領域の画像検査について解説する。【歯科大学歯学部画像診断学の講義および実習:30単位】		

一般目標(GIO)

歯科診療において必須である口内法エックス線撮影法およびパノラマエックス線撮影法の基本的知識の修得をメインに、歯科用コーンビームCTや頭部エックス線規格撮影などの検査法を理解すること。  
また、エックス線検査のリスクについて理解し、患者への説明ができるようになること。

回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	25	木	1	エックス線物理	エックス線と人体との相互作用を説明できる。
2				2	エックス線画像形成と機材	エックス線画像の形成過程と使用する機材を説明できる。
3	5	8	水	3	口内法撮影	口内法撮影法と画像解剖の説明ができる。
4				4	パノラマエックス線撮影法	パノラマエックス線撮影法と画像解剖の説明ができる。
5	6	19	水	1	その他の口外法	パノラマ以外の口外法について説明できる。
6				2	特殊撮影法	CT/MRIなど特殊撮影の基本が説明できる。
7	6	26	水	3	放射線障害と防護	放射線による障害とその防護法が説明できる。
8				4	歯・歯周組織の画像診断	歯・歯周組織の基本的な画像診断ができる。
	7	18	木	2	テスト	
評価基準					教科書	参考書
筆記試験	90%				学建書院	
平常点	10%				わかりやすい歯科放射線学	
	%					
	%					

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(13:00~14:30)

4限目(14:40~16:10)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	歯周病予防処置論 I			学年	1 年 期
担当者				期別	前期
単位数	2単位			講義・実習	講義
時間数・授業回数	2 時間 × 15回			専任・兼任	兼任
実務経験					
一般目標 (GIO)					
口腔疾患を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために、専門的な知識、技術、および態度を習得する。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標 (SBOs)
1	4	18	3	歯科予防処置論の概要	歯科予防処置論の概要を理解することができる
2		23	3	口腔の基礎知識①	口腔の基礎知識を習得することができる
3		30	3	口腔の基礎知識②	歯周組織の知識を習得することができる
4	5	2	1	口腔内の付着物・沈着物①	口腔内の付着物・沈着物について理解することができる
5		9	3	う蝕・歯周病の基礎知識	う蝕と歯周病の成り立ち・違いが分かる
6		16	1	患者からの情報収取①	患者から得られる情報収取を理解することができる
7		21	1	患者からの情報収集②	患者から得られる情報収取を述べることができる
8		24	1	口腔の基質的問題の把握	口腔の基礎的問題を述べることができる
9			2	歯周検査器具(エキスポローラー)	エキスポローラーの知識を習得することができる
10		30	1	歯周検査器具(プローブ)①	プローブの知識を習得することができる
11	6	19	1	歯周検査器具(プローブ)②	プローブの操作方法を理解することができる
12	7	3	1	歯周検査器具(ミラー、動揺度)	各種器具について使用方法を理解することができる
13		4	1	分析のためのデータ①	歯周疾患の分析ができる
14		5	1	分析のためのデータ②	歯周疾患の分析ができる
15		18	1	まとめ	総まとめができる
評価基準			教科書		参考書
筆記試験	100%		最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 (医歯薬出版株式会社)		

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	歯周病予防処置実習 I		学年	1 年 期	
担当者			期別	前期	
単位数	1単位		講義・実習	実習	
時間数・授業回数	2 時間 X 15回		専任・兼任	専任	
実務経験					
一般目標(GIO)					
<p>歯周病を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術、および態度を習得する。</p> <p>ファントムを使用し、実際の実技を習得する。</p>					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	6	12	1	マネキンの取り扱い・ポジショニング①	ファントムの取り扱いを修得することができる
2			2	ポジショニング②	ポジショニングを理解することができる
3		14	1	シクルスケーラーの基礎知識	シクルスケーラーの種類・特徴を理解することができる
4			2	シクルスケーラーの操作方法①	シクルスケーラーの操作方法を理解することができる
5		19	2	シクルスケーラーの操作方法②	シクルスケーラーを執筆状変法把持法にて把持することができる
6	7	3	2	シクルスケーラーの操作方法③	シクルスケーラーの操作を顎模型上でできる
7		4	3	シクルスケーラーの操作方法④	シクルスケーラーの角度を理解することができる
8		9	2	シクルスケーラーまとめ	ポジションを考え、シクルスケーラーの操作ができる
9		11	1	エキスポローラーの操作方法①	エキスポローラーの操作を顎模型上でできる
10		12	1	エキスポローラーの操作方法②	エキスポローラーを操作することができる
11		17	3	プローピングの操作方法①	プローブの操作を顎模型上でできる
12	7	19	1	プローピングの操作方法②	プローブを操作することができる
13		19	2	歯周治療分析実習①	歯周治療の分析を理解することができる
14	9	18	3	歯周治療分析実習②	歯周治療の分析し理解することができる
15		19	3	まとめ	器具の総まとめができる
評価基準			教科書		参考書
実技試験	60%		最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 (医歯薬出版株式会社)		
筆記試験	40%				

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	歯周病予防処置実習Ⅱ		学年	1 年 期	
担当者			期別	後期	
単位数	1単位		講義・実習	実習	
時間数・授業回数	2 時間 X 15回		専任・兼任	専任	
実務経験					
一般目標(GIO)					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	10	8	1	キュレットの基礎知識	キュレットの種類・操作方法を理解することができる
2			2	キュレットスケーラーの部位別操作方法①	キュレットスケーラーの特異的部位を示すことができる
3		10	4	キュレットスケーラーの部位別操作方法②	キュレットスケーラーの特異的部位を示すことができる
4	10	16	3	キュレットスケーラーの部位別操作方法③	キュレットスケーラーの特異的部位を示すことができる
5			4	キュレットスケーラーの部位別操作方法④	キュレットスケーラーの特異的部位を示すことができる
6	10	18	3	キュレットスケーラーの部位別操作方法⑤	キュレットスケーラーの特異的部位を示すことができる
7			4	キュレットスケーラーの部位別操作方法⑥	顎模型にてキュレットの操作方法を理解することができる
8		29	1	シャープニングの基礎知識	シャープニングの目的、方法を理解することができる
9			2	シャープニング実習①	シクルスケーラーのシャープニングができる
10	11	14	3	シャープニング実習②	キュレットスケーラーのシャープニングができる
11		19	1	超音波スケーラーの基礎知識	超音波の原理・種類・操作方法を理解することができる
12			2	エアスケーラーの基礎知識	エアスケーラーの原理・操作方法を理解することができる
13	1	8	4	パワースケーラー操作方法	パワースケーラーの原理・操作方法を理解することができる
14		9	1	歯面研磨・歯面清掃の基礎知識	歯面研磨・歯面清掃の知識を習得することができる
15		17	1	歯面研磨・歯面清掃の操作方法	歯面研磨・歯面清掃の手順を理解することができる
評価基準			教科書		参考書
筆記試験			40%		
実技試験			60%		

科目名	歯科予防処置実習3	学年	2年
担当者		期別	通年
単位数	2単位	講義・実習	講義
時間数・授業回数	4時間 × 15コマ	専任・兼任	専任
実務経験	医療短期大学専攻科で口腔保健学学士を取得後、臨床経験を積み、歯科衛生士に必要な歯科診療補助について実習を行う。		

一般目標 (GIO)

キュレットスケーラー及び超音波スケーラーの特徴を理解したうえで、臨床における適切な技術を修得する。

回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標 (SBOs)
1					マネキン実習	マネキンにおいて、超音波スケーラーの種類と特徴を理解したうえで実施することができる。
2						
3					相互実習 (超音波スケーラー)	超音波スケーラーの種類と特徴を理解したうえで実施することができる。
4						
5					相互実習 (下顎前歯部)	グレーシーキュレットスケーラーにおいて的確なスケーリングを実施することができる。(下顎前歯部)
6						
7					相互実習 (上顎前歯部)	グレーシーキュレットスケーラーにおいて的確なスケーリングを実施することができる。(上顎前歯部)
8						
9					相互実習 (下顎右側臼歯部)	グレーシーキュレットスケーラーにおいて的確な挿入角度でスケーリングを実施することができる。(下顎右側臼歯部)
10						
11					相互実習 (下顎左側臼歯部)	グレーシーキュレットスケーラーにおいて的確な挿入角度でスケーリングを実施することができる。(下顎左側臼歯部)
12						
13					相互実習 (上顎右側臼歯部)	グレーシーキュレットスケーラーにおいて的確な操作角度でスケーリングを実施することができる。(上顎右側臼歯部)
14						
15					相互実習 (上顎左側臼歯部)	グレーシーキュレットスケーラーにおいて的確な操作角度でスケーリングを実施することができる。(上顎左側臼歯部)
16						
評価基準					教科書	参考書
筆記試験	70	%	最新 歯科衛生士教本		最新 歯科衛生士教本 歯周病学	
平常点	30	%	歯科予防処置論・歯科保健指導論			
		%				
		%				

1限目 (9:00~10:30)

2限目 (10:40~12:10)

3限目 (13:00~14:30)

4限目 (14:40~16:10)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	歯周病予防処置実習Ⅳ				学年	3 年 期	
担当者					期別	前期	
単位数	1単位				講義・実習	実習	
時間数・授業回数	2 時間 × 15 回				専任・兼任	専任	
実務経験							
一般目標 (GIO)							
歯科衛生業務を展開するために論理的思考ツールである歯科衛生過程の進め方を理解し、歯科衛生過程を実施する。							
回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標 (SBOs)	
1	4	8	月	2	歯科衛生過程相互実習①	口腔内の状態を把握するために、安全に配慮し口腔内撮影する際の必要な道具を準備することができる。口腔内の状態を明確に記録することができる。	
2		10	水	1	歯科衛生過程相互実習②		
3				2	歯科衛生過程相互実習③		
4				4	歯科衛生過程相互実習④	歯科衛生過程における歯科衛生アセスメントのための情報収集を行うことができる。	
5		12	金	1	歯科衛生過程相互実習⑤	収集した情報を元に情報の分析・診断・歯科衛生計画を立案することができる。	
6		15	月	3	歯科衛生過程相互実習⑥		
7				4	歯科衛生過程相互実習⑦		
8		19	金	1	歯科衛生過程相互実習⑧		
9				2	歯科衛生過程相互実習⑨	立案した歯科衛生計画を元に対象者の病態の回復及び健康の維持・増進を目的として歯科衛生介入・記録することができる。	
10				3	歯科衛生過程相互実習⑩		
11				4	歯科衛生過程相互実習⑪	対象者から収集した情報を基に歯科衛生介入および記録したことを評価・書面化することができる。	
12	5	23	木	3	歯科衛生過程相互実習⑫		
13	6	27	木	1	歯科衛生過程相互実習⑬		
14				2	歯科衛生過程相互実習⑭	安全を考慮したうえで全顎スケーリングから歯面研磨まで行うことができる。	
15				3	まとめ		
	6	27	木	4	テスト		
評価基準					教科書	参考書	
実技試験					%	歯科予防処置論・歯科保健指導論	よくわかる歯科衛生過程(医歯薬出版株式会社)
筆記試験					%		

科目名	歯科予防処置(う蝕)	学年	1 年
担当者		期 別	通年
単 位 数	1 単 位	講義・実習	講義
時間数・授業回数	2H・8回	専任・兼任	専任
実務経験			

一般目標(GIO)

う蝕の発生とその予防について理解する。

フッ化物の概要、予防の手段、臨床での活用について理解する。

う蝕発病因子に基づきう蝕活動性試験を行い、その評価と対処を理解し臨床業務へと応用する。

回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1				う蝕予防の基礎(う蝕の特性)	う蝕の段階とそれぞれの特性について説明できる。
2				う蝕予防の基礎 (う蝕病因論、発生と進行)	う蝕の発生と病因について説明できる。う蝕の進行とその予防法について説明できる。
3				フッ化物について (利点と問題点、急性・慢性中毒)	フッ化物使用における予防効果、問題点に対し分析できる。 急性、慢性中毒を理解し使用後の注意事項を説明できる。
4				フッ化物の応用 (予防分類、使用薬剤について)	予防の概念に基づきう蝕予防のレベルを説明できる。フッ化物局所応用における使用薬剤の特徴を説明できる。
5				フッ化物の応用 (フッ化物歯面塗付、フッ化物洗口)	フッ化物歯面塗付における術式、使用器材、薬剤を説明できる。フッ化物洗口における概要、術式、使用薬剤を説明できる。
6				小窩裂溝填塞法(シーラント)について	小窩裂溝の形態を理解し、シーラントの対象歯、術式を説明できる。
7				その他のフッ化物応用について	セメント系填塞材、フッ化物バーニッシュ、フッ化ジアンミン銀の特性と応用について説明できる。
8				う蝕活動性試験 (概要、各種試験、臨床的応用)	う蝕の発生と進行においてリスクの説明ができる。各因子における活動性試験を行い臨床での活用方法を説明できる。
9					
10					
11					
12					
13					
14					
評価基準				教科書	参考書
筆記試験		100%			



令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	う蝕予防処置論		学年	1 年 期		
担当者			期別	後期		
単位数	1単位		講義・実習	講義		
時間数・授業回数	2 時間	X 8回	専任・兼任	専任		
実務経験						
一般目標(GIO)						
う蝕の発生とその予防について、フッ化物の概要、予防の手段、臨床での活用について理解する。						
う蝕発病因子に基づきう蝕活動性試験を行い、その評価と対処を理解し臨床業務へと応用し、必要とされる専門知識や技術ならびに態度を身につける。						
回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	11	5	火	2	う蝕の基礎知識と概要	予防の概念に基づきう蝕予防のレベルを説明できる。フッ化物局所応用における使用薬剤の特徴を説明できる。
2		7	木	2	う蝕活動性試験の基礎知識	う蝕の発生と病因について説明できる。う蝕の進行とその予防法について説明できる。
3		21	木	2	フッ化物の応用①フッ化物歯面塗布	フッ化物歯面塗付における術式、使用器材、薬剤を説明できる。
4	12	16	月	2	フッ化物の応用②フッ化物洗口	フッ化物洗口における概要、術式、使用薬剤を説明できる。
5		17	火	2	フッ化物の応用③フッ化物配合歯磨剤	う蝕の発生と進行においてリスクの説明ができる。各因子における活動性試験を行い臨床での活用方法を説明できる。
6	1	8	水	3	フッ化物の毒性と急性中毒①	フッ化物使用における予防効果、問題点に対し分析できる。
7		20	月	2	フッ化物の毒性と急性中毒②	急性、慢性中毒を理解し使用後の注意事項を説明できる。
8		22	水	3	まとめ	小窩裂溝の形態を理解し、シーラントの対象歯、術式を説明できる。
9	2	27	木	2	テスト	
10						
11						
12						
13						
14						
15						
評価基準			教科書		参考書	
筆記試験	100%		最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 (医歯薬出版株式会社)			

## 九州医療専門学校 歯科衛生歯科

科目名	歯科保健指導論 I				学年	1 年
担当者					期別	前期
単位数	2単位				講義・実習	講義
時間数・授業回数	2 時間 × 15 回				専任・兼任	専任
実務経験						
一般目標 (GIO)						
回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標 (SBOs)
1					歯科保健指導の概要	歯科保健指導の概要を説明することができる
2					口腔の基礎知識	歯式・歯の構造について理解することができる
3					口腔衛生管理に関わる指導 歯ブラシの基礎知識	歯ブラシの種類・構造について理解することができる
4					ブラッシング方法の知識と技術①	毛先を使用する方法について説明することができる
5					ブラッシング方法の知識と技術②	脇腹を使用する方法について説明することができる
6					補助的清掃器具の知識と技術①	補助的清掃器具について種類を説明することができる
7					補助的清掃器具の知識と技術②	補助的清掃器具の使用方法が分かる
8					歯磨剤の基礎知識	歯磨剤の知識を習得することができる
9					洗口液・洗口剤・保湿剤の基礎知識	洗口液・洗口剤・保湿剤の知識を習得することができる
10					口腔機能管理に関わる指導	対象者に指導する知識を習得することができる
11					生活習慣の指導	生活習慣病について知識を習得することができる
12					口腔衛生指導 選択と指導①	口腔衛生指導に関わる選択と指導ができる
13					口腔衛生指導 選択と指導②	口腔衛生指導に関わる選択と指導ができる
14					分析のためのデータ	歯科保健指導の分析ができる
15					まとめ	
					テスト	
評価基準					教科書	参考書
筆記試験	###					

## 九州医療専門学校 歯科衛生学科

科目名	歯科保健指導論Ⅱ			学年	1 年	
担当者				期別	後期	
単位数	2単位			講義・実習	講義	
時間数・授業回数	2 時間 × 15 回			専任・兼任	専任	
実務経験						
一般目標(GIO)						
回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1					食生活指導のための基礎知識	
2					栄養素①	
3					栄養素②	
4					食品とう蝕誘発性①	
5					食品とう蝕誘発性②	
6					保健行動支援のための基礎知識	
7					ライフステージにおける歯科衛生介入①	
8					ライフステージにおける歯科衛生介入②	
9					ライフステージにおける歯科衛生介入③	
10					ライフステージにおける歯科衛生介入④	
11					ライフステージにおける歯科衛生介入⑤	
12					ライフステージにおける歯科衛生介入⑥	
13					ライフステージにおける歯科衛生介入⑦	
14					配慮を要するものへの歯科衛生介入①	
15					配慮を要するものへの歯科衛生介入①	
					テスト	
評価基準					教科書	参考書
筆記試験				###		

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	歯科保健指導実習 I		学年	1 年 期	
担当者			期別	後期	
単位数	1 単位		講義・実習	実習	
時間数・授業回数	2 時間 X 15回		専任・兼任	専任	
実務経験					
一般目標(GIO)					
口腔衛生管理を行うために必要な知識、技術および態度を習得する。					
健康教育活動の場で指導するために、必要な専門知識、技術および態度を習得する。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	12	18	3	地域保健活動における健康活動	地域歯科保健事業における歯科衛生士の役割を説明できる
2		19	3	地域保健活動における健康活動	地域歯科保健事業における歯科衛生士の役割を説明できる
3	1	14	2	地域歯科保健活動のフィールド	対象者の特性とニーズの把握ができる
4		15	3	地域歯科保健活動の実践①	保育所、幼稚園を対象とした健康教育ができる
5		16	3	地域歯科保健活動の実践②	保育所、幼稚園を対象とした健康教育ができる
6		29	3	地域歯科保健活動の実践③	保育所、幼稚園を対象とした健康教育ができる
7		30	2	地域歯科保健活動の実践④	保育所、幼稚園の保育士、教員および保護者を対象とした健康教育ができる
8	2	3	2	地域歯科保健活動の実践⑤	小学校の口腔保健の実態が把握できる
9		4	3	地域歯科保健活動の実践⑥	小学校の口腔保健の実態が把握できる
10		5	3	地域歯科保健活動の実践⑦	中学校・高校の口腔保健の実態が把握できる
11		7	1	地域歯科保健活動の実践⑧	小学校、中学校、高校を対象とした健康教育ができる
12		13	3	地域歯科保健活動の実践⑨	小学校、中学校、高校の教員および保護者を対象とした健康教育ができる
13	3	3	1	地域歯科保健活動の実践⑩	事業所の口腔保健の実態が把握できる
14			2	地域歯科保健活動の実践⑪	事業所の従業者・衛生管理者を対象とした健康教育ができる
15		4	2	地域歯科保健活動の実践⑫	要介護者の家族・介護者・施設職員の健康教育ができる
評価基準				教科書	参考書
筆記試験				最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 (医歯薬出版株式会社)	
実技試験					

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	歯科保健指導実習Ⅱ			学年	2 年 期
担当者				期別	通年
単位数	1単位			講義・実習	実習
時間数・授業回数	時間 X 15回			専任・兼任	専任
実務経験					
一般目標(GIO)					
健康教育の場で指導するために、必要な専門知識、技術および態度を習得する。					
口腔機能低下と口腔機能障害に応じた機能向上に向けて、口腔機能管理と指導を行うために専門的知識、技術および態度を習得する。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	8	2	地域歯科保健活動の実践①	保育所、幼稚園を対象とした健康教育ができる
2			3	地域歯科保健活動の実践②	保育所、幼稚園を対象とした健康教育ができる
3		11	3	地域歯科保健活動の実践③	保育所、幼稚園の保育士、教員および保護者を対象とした健康教育ができる
4		12	3	地域歯科保健活動の実践④	児童、生徒の口腔保健の実態が把握できる
5		15	1	地域歯科保健活動の実践⑤	児童、生徒の口腔保健の実態が把握できる
6		16	1	地域歯科保健活動の実践⑥	児童・生徒を対象とした健康教育ができる
7			2	地域歯科保健活動の実践⑦	児童・生徒を対象とした健康教育ができる
8	9	10	1	ライフステージ別 口腔衛生指導①	ライフステージ別の口腔の特徴および歯科保健行動を説明できる
9			2	ライフステージ別 口腔衛生指導②	各ライフステージ別の口腔衛生指導ができる。
10		13	1	ライフステージ別 口腔衛生指導③	特別に配慮を要する者に口腔衛生指導ができる。
11	10	3	3	口腔ケアの基礎知識	口腔機能リハビリテーションを概説できる
12		7	3	口腔ケア相互実習①	口腔機能低下に伴う全身疾患の種類と治療の概要を説明できる
13		9	3	口腔ケア相互実習②	口腔機能の現状を把握するための評価ができる
14		15	1	機能的訓練①	口腔機能訓練ができる
15			2	機能的訓練②	食事指導・支援や摂食介助ができる
評価基準			教科書		参考書
実技		%	最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 (医歯薬出版株式会社)		
筆記		%			

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	栄養指導				学年	1年	期生
担当者					期別	後期	
単位数	2単位				講義・実習	講義・実習	
時間数・授業回数	2時間 × 15回				専任・兼任	兼任	
実務経験	大学・短大・看護学校・糖尿病外来の栄養指導の経験を有する教員が、歯科衛生士に必要な栄養学について講義する						
一般目標 (GIO)							
<p>栄養学は健康に生きていく上での生命維持に最も深い関わりを持っている。栄養素の消化・吸収・代謝及びその調整を中心に学ぶ教科である。食生活上の改善を必要とする対象者に対して施す具体的な指導方法を熟知することにある。食品のう蝕誘発性及び歯科臨床の場において栄養指導の必要性について学ぶ。</p>							
回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標 (SBOs)	
1	10	2	水	1	食生活と疾患との関係	現代の食生活の問題点について	
2	10	9	水	1	栄養素の消化・吸収	栄養の基礎知識について	
3	10	16	水	1	食事摂取基準	エネルギーの必要量の求め方、脂肪エネルギー比率	
4	10	23	水	1	基礎代謝	基礎代謝量の求め方及び影響する因子	
5	10	30	水	1	栄養素の働き	糖質について	
6	11	6	水	1	栄養素の働き	タンパク質について	
7	11	13	水	1	栄養素の働き	脂質について	
8	11	20	水	1	栄養素の働き	ビタミンについて(欠乏症等)	
9	12	4	水	1	栄養素の働き	ミネラルの作用と欠乏、過剰症など	
10	12	11	水	1	水の栄養的意味	働き・代謝	
11	12	18	水	1	食物繊維の栄養的意味	働き・摂取量と給源	
12	1	8	水	1	食生活と健康	食生活の変遷と疾患構造の変化について	
13	1	15	水	1	食生活改善の取り組み	食事環境、計画	
14	1	22	水	1	ライフステージ別の栄養	成長期・成人期・高齢期の栄養調理の特性	
15	1	29	水	1	食べ物と健康	食品成分表の分類、食べ物の物性について	
	2	26	水	3	テスト		
評価基準					教科書	参考書	
筆記試験	80%				歯科衛生学シリーズ人体の構造と機能2 栄養と代謝 (医歯薬出版)		
平常点	20%						
	%						

1限目 (9:00～10:30)

2限目 (10:40～12:10)

3限目 (13:00～14:30)

4限目 (14:40～16:10)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	歯科診療補助論 I				学年	1 年 期
担当者					期別	前期
単位数	1 単位				講義・実習	講義
時間数・授業回数	2	時間	×	8回	専任・兼任	兼任
実務経験						
一般目標 (GIO)						
歯科診療における歯科衛生士の役割を理解し、歯科診療補助に必要な基礎的知識を習得する。 歯科医療における医療安全と感染予防、消毒・滅菌等について基礎知識を習得する。						
回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標 (SBOs)
1	5	7	火	2	歯科診療補助の概念(梶原)	歯科診療補助の業務内容と歯科診療室における設備を理解する。
2		10	金	1	手指衛生	手指消毒の目的を理解し、グローブの装着・着脱を実施することができる。
3		23	木	1	感染予防 スタンダードプリコーション	歯科診療における医療安全と感染予防、スタンダードプリコーション、感染のリスクアセスメントを具体的に理解することができる。
4		6	木	1	滅菌と消毒①	滅菌と消毒の定義を理解することができる。
5		7	金	1	滅菌と消毒②	滅菌・消毒・洗浄の方法について理解することができる。
6		13	木	1	医療廃棄物の取り扱い	感染性廃棄物の分類と分別を説明することができる。
7		20	木	1	医療安全	歯科診療における医療安全と感染予防について理解する。 グループワークでKYTによる医療安全対策を実施することができる。
8		25	火	2	救命処置	救命処置のアルゴリズムを説明することができる。
	7	31	水	3	テスト	
評価基準				教科書		参考書
筆記試験	100%			歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 (医歯薬出版株式会社)		

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	歯科診療補助論Ⅱ				学年	3年	期
担当者					期別	前期	
単位数	1単位				講義・実習	講義	
時間数・授業回数	2時間 X 8回				専任・兼任	専任	
実務経験							
一般目標(GIO)							
回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標(SBOs)	
1						保存修復学の臨床と国家試験問題を結びつけることができる	
2						歯内療法学の臨床と国家試験問題を結びつけることができる	
3						歯周外科治療学の臨床と国家試験問題を結びつけることができる	
4						歯科補綴学の臨床と国家試験問題を結びつけることができる	
5						口腔外科学の臨床と国家試験問題を結びつけることができる	
6						歯科矯正学の臨床と国家試験問題を結びつけることができる	
7						小児歯科学の臨床と国家試験問題を結びつけることができる	
8						まとめ	
評価基準				教科書		参考書	
筆記試験		100%					



令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	歯科診療補助実習 I			学年	1 年 期
担当者				期別	前期
単位数	1単位			講義・実習	実習
時間数・授業回数	2 時間 X 15回			専任・兼任	専任
実務経験					
一般目標(GIO)					
歯科診療で使用する歯科材料の取り扱いについての技術を修得する。 歯科診療で使用する歯科材料・器具の取り扱いについて理解する。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	15	3	歯科衛生材料の基礎知識と取り扱い	歯科診療補助を行う上での身だしなみについて理解する
2		16	2	歯科衛生材料作製①	歯科衛生材料の知識を習得することができる
3		25	1	歯科衛生材料作製②	歯科衛生材料を作成することができる
4	5	9	1	歯科診療で扱う歯科材料 アルジネート印象材の基礎知識	歯科診療で扱う歯科材料の種類を習得することができる
5		17	3	歯科診療で扱う歯科材料 石膏の基礎知識	歯科診療で扱う歯科材料の知識を習得することができる
6		20	3	印象練和実習①	アルジネートの特性を理解することができる
7		22	1	印象練和実習②	アルジネートの特性を生かし練和することができる
8			2	印象採得実習①	印象採得の器具を準備することができる
9	5	31	1	印象採得実習②	アルジネートの特性を生かし印象採得が行える
10			2	印象採得相互実習①	相互実習においてアルジネートの特性を生かし印象採得が行える
11	6	21	1	印象採得相互実習②	相互実習においてアルジネートの特性を生かし印象採得が行える
12			2	印象採得相互実習③	相互実習においてアルジネートの特性を生かし印象採得が行える
13	6	27	1	印象採得相互実習④	相互実習においてアルジネートの特性を生かし印象採得が行える
14	9	17	1	模型作製①	歯科診療で扱う歯科材料の種類を習得することができる
15			2	模型作製②	石膏の種類を述べることができる
評価基準			教科書		参考書
筆記試験	30%		最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 (医歯薬出版株式会社)		
実技試験	70%				

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	歯科診療補助実習Ⅱ		学年	1 年 期	
担当者			期別	後期	
単位数	2単位		講義・実習	実習	
時間数・授業回数	2 時間 X 30回		専任・兼任	専任	
実務経験	県立総合医療センター口腔外科6年、病院口腔外科1年3か月勤務				
一般目標(GIO)					
<p>歯科診療で頻繁に使用する歯科材料の取り扱いについて技術を習得する。                  歯科診療で使用する歯科材料・器具の取り扱いについて理解する。</p>					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	9	30	1	寒天印象採得の基礎知識	寒天印象採得の基礎知識を説明することができる。
2			2	寒天印象採得の補助・採得実習	寒天印象とアルジネート印象の連合印象採得するための知識・手順・技術を習得することができる。
3	10	2	3	合成ゴム印象材の基礎知識	合成ゴム印象材の基礎知識を説明することができる。
4		3	1	合成ゴム印象採得の補助実習	合成ゴム印象採得するための知識・手順・技術を習得することができる。
5			2	その他の印象材の補助、ワックスの基礎知識	その他の印象材の補助、ワックスの基礎知識を説明することができる。
6		7	1	合着・接着剤の基礎知識と種類	合着・接着剤の基礎知識と種類を説明することができる。
7			2	合着・接着剤の練和実習・余剰セメントの除去	合着・接着剤の練和と余剰セメントの除去を習得することができる。
8		10	1	仮封・仮着の基礎知識と種類	仮封剤・仮着材の基礎知識と種類を説明することができる。
9			2	仮封・仮着の実習	仮封剤・仮着材の練和・取り扱いを習得することができる。
10		21	1	綿栓の基礎知識	綿栓の基礎知識を説明することができる。
11			2	綿栓作製	歯内療法における綿栓の用途を理解し作製することができる。
12		24	1	歯科診療における基礎知識①	歯科診療室の環境・設備について説明することができる。
13			2	歯科診療における基礎知識②	歯科診療室の環境・設備について説明することができる。
14	11	1	1	診療補助オリエンテーション	校内実習室の設備・取り扱いについて理解することができる。
15		7	1	診療補助オリエンテーション	校内実習室の設備・取り扱いについて理解することができる。
評価基準			教科書		参考書
筆記試験	50%		最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版(医歯薬出版株式会社)		最新歯科衛生士教本 歯科機器(医歯薬出版株式会社) 最新歯科衛生士教本 歯科材料(医歯薬出版株式会社) 最新歯科衛生士教本 歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法(医歯薬出版株式会社) 最新歯科衛生士教本 顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔(医歯薬出版株式会社)
実技試験	40%				
実習態度	10%				

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生学科

科目名	歯科診療補助実習Ⅱ		学年	1 年 期	
担当者			期別	後期	
単位数	2単位		講義・実習	実習	
時間数・授業回数	2 時間 X 30回		専任・兼任	専任	
実務経験					
一般目標(GIO)					
<p>歯科診療で頻繁に使用する歯科材料の取り扱いについて技術を習得する。                  歯科診療で使用する歯科材料・器具の取り扱いについて理解する。</p>					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
16	11	18	1	歯科診療における受診の流れ	歯科診療における患者対応を説明することができる。
17			2	共同作業①	歯科用器材に応じた共同作業について説明することができる。
18	12	2	1	共同作業②	歯科用器材に応じた共同作業について説明することができる。
19			2	共同作業の実践①	共同作業におけるチェアユニットの操作・適切なポジショニングを実施することができる。
20		4	3	共同作業の実践②	共同作業における適切なライティング・フォーハンドテクニックに基本動作を実施することができる。
21			4	器具の受け渡しの基礎知識	器具の受け渡しの基礎知識について説明することができる。
22		19	1	器具の受け渡しの実践①	器具の取り扱いや受け渡しを模倣することができる。
23			2	器具の受け渡しの実践②	器具の取り扱いや受け渡しを模倣することができる。
24	1	28	1	歯科診療補助実習①	染め出し・ブラッシング指導を実施することができる。
25		30	3	歯科診療補助実習②	染め出し・ブラッシング指導を実施することができる。
26			4	歯科診療補助実習③	口腔内を観察し、歯周検査を実施することができる。
27	2	12	1	歯科診療補助実習④	口腔内を観察し、歯周検査を実施することができる。
28			2	歯科診療補助実習⑤	器具の取り扱いや受け渡しを実施することができる。
29		13	1	歯科診療補助実習⑥	相互実習においてアルジネート印象採得と患者への対応を実施することができる。
30			2	歯科診療補助実習⑦	相互実習においてアルジネート印象採得と患者への対応を実施することができる。
評価基準			教科書		参考書
筆記試験	50%		最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版(医歯薬出版株式会社)		最新歯科衛生士教本 歯科機器(医歯薬出版株式会社) 最新歯科衛生士教本 歯科材料(医歯薬出版株式会社) 最新歯科衛生士教本 歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法(医歯薬出版株式会社) 最新歯科衛生士教本 顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔(医歯薬出版株式会社)
実技試験	40%				
実習態度	10%				

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	歯科診療補助実習Ⅲ			学年	2 年 期
担当者				期別	前期
単位数	2単位			講義・実習	講義
時間数・授業回数	2時間 X 15回			専任・兼任	専任
実務経験					
一般目標(GIO)					
さまざまなライフステージにおける歯科医療に対応するために、専門的な歯科医療の補助に関する基礎的知識、技術および態度を習得する。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	11	1	保存修復時の診療補助①	コンポジットレジン充填の手順を説明できる
2		18	1	保存修復時の診療補助②	直接法間接法の違いを説明できる
3			2	保存修復時の診療補助③	コンポジットレジン修復の器具や材料の準備ができる
4	5	2	1	保存修復時の診療補助④	4級窩洞のCR充填ができる
5		14	1	歯内療法時の診療補助①	歯髄処置の手順を説明できる
6			2	歯内療法時の診療補助②	歯髄処置の薬剤や器材の準備ができる
7	6	13	1	歯内療法時の診療補助③	根管充填の受け渡しができる
8			2	歯内療法時の診療補助④	根管充填の受け渡しができる
9	6	21	1	画像検査	必要な撮影手順、放射防護の方法を説明できる
10			2	画像検査実習	口腔内写真撮影ができる
11	6	24	1	歯肉圧排実習①	歯肉圧排の準備や取り扱いの説明ができる
12			2	歯肉圧排実習②	歯肉圧排ができる
13	6	27	1	実技試験練習	実技試験に向けた練習ができる
14			2	実技試験練習	実技試験に向けた練習ができる
15	7	1	1	まとめ	臨床に向けた歯科診療補助ができる
評価基準			教科書		参考書
CR充填(実技)			25%		
根充の受け渡し			25%		

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	歯科診療補助実習Ⅲ			学年	2 年 期
担当者				期別	後期
単位数	2単位			講義・実習	講義
時間数・授業回数	2時間 X 30回			専任・兼任	専任
実務経験					
一般目標(GIO)					
さまざまなライフステージにおける歯科医療に対応するために、専門的な歯科医療の補助に関する基礎的知識、技術および態度を習得する。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
16	9	11	3	口腔外科時の診療補助①	口腔外科治療の術式に沿って器具・器材を説明できる。
17		17	1	口腔外科時の診療補助②	普通抜歯の受け渡しができる
18			2	補綴治療時の診療補助①	暫間修復について説明できる
19		20	1	補綴治療時の診療補助②	暫間修復材(既製)を作成できる
20		24	1	補綴治療時の診療補助③	暫間修復材を作成できる
21			2	補綴治療時の診療補助④	暫間修復材を作成できる
22		26	1	補綴治療時の診療補助⑤	歯式をとることができる
23			2	補綴治療時の診療補助⑥	歯式をとることができる
24	10	1	3	実技試験練習	実技試験に向けた練習ができる
25		8	1	歯科診療補助実習まとめ①	オスキーについて説明できる
26			2	歯科診療補助実習まとめ②	オスキー実施内容について理解する
27		11	1	歯科診療補助実習まとめ③	オスキー実施内容についてまとめることができる
28			2	歯科診療補助実習まとめ④	オスキー実施の実技ができる
29		16	1	歯科診療補助実習まとめ⑤	オスキー実施の実技ができる
30			2	歯科診療補助実習まとめ⑥	オスキーの発表をすることができる
評価基準			教科書		参考書
普通抜歯の受け渡し			25%		
TEK			25%		
オスキー発表点			加点		

科目名	歯科臨床検査法	学年	2年
担当者		期別	通年
単位数	1単位	講義・実習	講義・実習
時間数・授業回数	2時間×15回	専任・兼任	兼任
実務経験	臨床検査技師・糖尿病療養指導士・細胞検査士の資格を有する教員が、歯科衛生士に必要な臨床検査の講義を行う。		

一般目標(GIO)

歯科衛生士としてヒトの病態を臨床検査というエビデンスをもって知ることが出来るように、臨床検査の基本的知識と病気を持つ患者に対応する上で必要な態度と技術を修得する。

回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1					臨床検査とは	臨床検査の意義と歯科衛生士の役割について説明する。
2					生体検査(体温・脈拍・血圧他)	体温・脈拍・血圧等の意義について説明し測定方法を述べる。
3					生体検査実習(血圧・脈拍)	脈拍・血圧測定の実習を行う。
4					肝機能検査(尿検査)	腎機能検査(尿検査)と疾患について説明する。
5					尿スクリーニング検査実習	尿スクリーニング検査(試験紙法)の実習を行う。
6					血液検査	血液を用いる検査の種類と血液学的検査について説明できる。
7					血液凝固線溶系検査	血液凝固・線溶検査と疾患について説明できる。
8					生化学検査(肝機能検査)	肝機能検査と疾患について説明できる。
9					免疫・血清学的検査	免疫・血清学的検査と疾患について説明できる。
10					血液型検査	血液型検査について説明することができる。
11					血液型検査実習	血液検査(ABO式)の実習を行う。
12					感染症検査・病理検査	感染症検査・病理検査と疾患について説明できる。
13					貧血と検査	貧血の種類と特徴および検査について説明できる。
14					糖尿病と検査	糖尿病の分類と特徴および検査について説明できる。
15					血糖自己測定検査実習	血糖自己測定検査の実習を行う。
評価基準					教科書	参考書
筆記試験	90%				医歯薬出版 臨床検査	
平常点	10%					
	%					
	%					

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(13:00~14:30)

4限目(14:40~16:10)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	麻酔・救急蘇生法		学年	2 年 期生		
担当者			期 別	後期		
単 位 数	1 単 位		講義・実習	講義		
時間数・授業回数	2 時間× 8 回		専任・兼任	兼任		
実務経験	歯科麻酔を経験した歯科医師が基本知識と方法等を講義する。					
一般目標(GIO)						
歯科で用いる局所麻酔法、精神鎮静法、全身麻酔法や救急蘇生法について理解し、歯科衛生士として安全な歯科治療を行うために必要な基本的知識を修得する。						
回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	9	9	月	1	バイタルサイン	バイタルサインの種類を説明できる。
2				2	局所麻酔法	局所麻酔法の目的、薬剤、使用時の補助を説明できる。
3	9	30	月	1	精神鎮静法	精神鎮静法の目的、薬剤、使用時の補助を説明できる。
4				2	全身麻酔法	全身麻酔法の目的、薬剤、使用時の補助を説明できる。
5	10	7	月	1	歯科治療と全身状態の変化	歯科治療中のバイタルサイン等の変化を説明できる。
6				2	全身疾患への対応	注意すべき全身疾患と対応を説明できる。
7	10	21	月	1	歯科における偶発症と対応	歯科治療時に起こりうる偶発症について説明できる。
8				2	救急蘇生の目的と方法	救急蘇生の目的と方法を説明できる。
	10	30	水	1	テスト	
評価基準				教科書		参考書
筆記試験			%	医歯薬出版 歯科衛生学		
平常点			%	シリーズ		
			%	口腔外科学・歯科麻酔学		
			%			

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(13:00~14:30)

4限目(14:40~16:10)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	歯科材料学	学年	1 年 期生
担当者		期 別	後期
単位数	1 単 位	講義・実習	講義
時間数・授業回数	2 時間× 8 回	専任・兼任	兼任
実務経験	福岡歯科大学にて教授の経験のある教員が歯科治療における歯科材料の役割と取扱い方について講義する		

一般目標(GIO)

臨床に役立つ歯科材料学を身につけるために、歯科材料の種類、素材、用途、基礎的性質(機械的性質、物理的性質、化学的性質、生物学的性質、安全性など)や取扱い方を理解し、臨床に役立つ歯科材料学の知識を修得する。

	月	日	曜日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	10	24	木	3	歯科用材料の基礎知識	歯科用材料を類別し、それらの素材、用途や特徴を記述する。
2	11	7	木	3	歯科用材料の性質	材料の機械的性質、物理化学生物学的性質の違いを記述する。
3	11	21	木	4	印象材と模型材	各種印象材と各種種石膏の成分、用途、特徴および操作方法を記述する。
4	11	27	水	2	歯科接着・合着の理論と技法	合着・接着理論を述べ、各種技法を記述する。
5	12	5	木	3	合着用と仮着用セメント	各種合着用及び仮着セメントの成分、用途や特徴を記述する。また、各材料の操作方法も説明する。
6	1	9	木	2	接着材と接着処理材	各種接着材の成分や特徴を記述する。また、接着処理材の効果も記述する。
7	1	23	木	1	修復材料と小窩裂溝封鎖材	各種修復材と各種小窩裂溝封鎖材の成分、用途、特徴および操作方法を記述する。
8				2	仮封材と暫間修復材	各種仮封材と各種暫間修復材の成分、用途、特徴および操作方法を記述する。
	2	27	木	1	テスト	
評価基準					教科書	参考書
筆記試験				%	医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 歯科材料	学建書院 スタンダード歯科理工学 一生体材料と 歯科材料一
平常点				%		
				%		
				%		

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(13:00~14:30)

4限目(14:40~16:10)



令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	感染予防学				学年	1 年 期生			
担当者					期 別	前期			
単位数	1 単 位				講義・実習	講義			
時間数・授業回数	2 時間× 8 回				専任・兼任	兼任			
実務経験	医科総合病院の勤務経験を有する口腔外科専門医が、歯科における感染対策の現状と問題点を講義する								
一般目標 (GIO)									
<p>講義, 実習を通して, 標準予防策を理解し, 基本的な感染対策を習得し実践できるようにする.          また, 歯科臨床において問題          となる全身状態や感染症を理解し, 配慮すべき事項を説明できる. 院内の整理整頓, 機材の再生処理を適切におこない,          医療廃棄物を適切に処理できることを目標とする.</p>									
回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標 (SBOs)			
1	4	25	木	3	序論 歯科診療の特殊性と感染対策	感染対策における歯科衛生士の役割を認識する			
2	5	2	木	3	感染予防対策の基本・感染のハイリスク患者	標準予防策を学ぶ. 歯科診療において問題となる代表的な疾患と感染のハイリスク患者を学ぶ.			
3	5	16	木	3	歯科診療における感染予防対策の基本と実際	標準予防策と経路別感染対策を理解する.			
4	5	23	木	3	滅菌・消毒・洗浄の基本と実際①	器材の滅菌法, 再処理法を理解する.			
5	6	6	木	3	滅菌・消毒・洗浄の基本と実際②	各種消毒薬の特徴と正しい使い方を理解する.			
6	6	27	木	3	口腔ケアの意義/アメニティと環境整備/医療従事者の感染予防対策/廃棄物の処理	医療従事者の感染予防策を知る. また, 口腔ケアの重要性を認識する. 環境整備と廃棄物の処理法について知る.			
7				4	手洗い・グローブ装着実習	手指衛生及び個人防護具の着用を実習する.			
8	7	18	木	3	感染予防対策のまとめ	標準予防策を正しく理解し, 実践できるようになる.			
	7	30	火	2	テスト				
評価基準					教科書	参考書			
筆記試験	100 %				医歯薬出版				
	%				新・歯科医療における感染予防対策と滅菌・消毒・洗浄				
	%								
	%								

1限目 (9:00~10:30)

2限目 (10:40~12:10)

3限目 (13:00~14:30)

4限目 (14:40~16:10)

科目名	臨地実習	学年	2年
単位数	1単位(45時間)	評価基準	実習状況 100%

実習計画

- 1 実習期間 5月～6月(8日間)※予定  
 歯と口の健康週間 幼稚園・保育園・小学校(低学年・中学年・高学年)
- 2 実習目標 今後、各ライフステージに合わせた公衆衛生活動の計画・立案が出来るようになるために  
 園児・児童等への歯磨き指導実習を通して、その能力を修得する。
- 3 実習項目
- ・園児・児童とのコミュニケーション
  - ・ライフステージに合わせた口腔保健指導
  - ・ライフステージに合わせた歯科保健指導案の作成
  - ・歯と口の健康週間に関する知識
  - ・指導教材の作成および活用
  - ・年齢に応じたう蝕予防法
  - ・普及啓発

科目名	臨床実習	学年	2年
単位数	7単位(315時間)	評価基準	実習状況 100%

実習計画

1 実習期間 5月～6月(8日間)※予定

- ①解剖実習見学 (1日)
- ②九州大学病院実習 1月20日～3月18日(7H×41日間)(予定)

2 実習目標

- ①講義で学んだ知識をもとに歯学部で実施されている解剖実習の遺体を観察し、人体の構造の認識と理解を深め臨床に活かす。また解剖学・組織発生学の知識とともに統合的に人体の正常構造を理解し基礎医学・臨床医学の基本を理解しつつ、生命と死、献体の意義を考え、医の倫理について各自が意識し考えることができる。
- ②大学病院各科で専門性を生かした高度な実践教育を行い、基礎実習で学んだ知識や技術を臨床の場であらゆる場面で応用できる技術を身につけることができる。また、歯科医療従事者としての認識を持ち必要な知識・行動を身につけ、医療の現場において、他職種と協働する能力を身につけることができる。

3 実習項目

- ②(1) 歯内治療科 (2) 歯周病科 (3) 咬合補綴科 (4) 義歯補綴科 (5) 矯正歯科 (6) 口腔総合診療科 (7) 高齢者・全身管理歯科 (8) 顎顔面口腔外科 (9) スペシャルニーズ歯科・小児歯科
- ・各科オリエンテーション
- ・清潔・不潔域の区別
- ・治療開始前の準備と治療後の片付け
- ・各科での必要な器具・器材の準備、診療補助の方法
- ・各種器材・薬剤・材料の特徴と使用法
- ・患者さんへの対応
- ・口腔衛生指導の手順やポイント
- ・診査(PCR)・TBI・歯面研磨
- ・インプラント手術見学
- ・メンテナンス
- ・プロービング・スケーリング・PMTTC
- ・有病者の歯科治療
- ・口腔ケア支援のための病棟往診見学
- ・術前後に患者に対して行う説明と指導

科目名	臨地実習	学年	3年
単位数	1単位(45時間)	評価基準	実習状況 100%

### 実習計画

1 実習場所・期間 5月～10月(予定)

- |             |                 |
|-------------|-----------------|
| ①若楠療育園(4日間) | ③保健センター(1日)     |
| ②中原支援学級(1日) | ④特別養護老人ホーム(4日間) |

※上記実習場所・期間は変更の場合がある

2 実習目的

- ①障害者施設で、歯科衛生士が他職種と連携をとり、口腔機能向上における支援を専門職としてどう関わりながら、個々の障害に合った個別支援を行うために、必要な情報収集・病状の把握・支援・技能および知識を修得する。
- ②養護教員から個々の障害に合ったケアや援助の方法を学び、個々のニーズに合った支援計画の立案をし、実行することを目的とする。
- ③1歳半・3歳児検診での見学を通して、児童の発達段階および日常生活行動について理解し、口腔の管理を行うために必要な知識・技能および態度を身につける。また、個々に合った歯科保健指導ができる様、日頃からのコミュニケーションを含め人との接し方や観察するための能力を身につけることができる。
- ④高齢者施設の利用者を捉え、病状を把握し、情報収集・分析・処置・予防管理を行うために必要な臨床技法および知識を習得する。また他職種との連携における歯科衛生士の役割を学び理解することができる。

3 実習項目

- ①・障害に合った歯科診療の補助 ・特別な支援が必要な疾患の理解 ・障害別コミュニケーションの方法  
・障害者本人と介助者が行う口腔ケア ・リスク評価と安全管理 ・摂食嚥下リハビリテーション
- ②・指導教材の作成および活用 ・個々の障害に合った口腔ケアプラン作成と実施  
・個々の障害に合ったコミュニケーション
- ③・時期に合った幼児と保護者への歯科保健指導 ・行政での歯科衛生士の役割  
・幼児と保護者のコミュニケーション
- ④・口腔介護アセスメント表の作成 ・食事介助および摂食嚥下などの口腔機能状態の把握  
・専門的口腔ケアの実施 ・口腔機能維持・向上支援のためのための健口体操の実施  
・集団口腔リハビリの実施 ・口腔ケアプランの作成・記録・評価

科目名	臨床実習	学 年	3 年
単 位 数	12単位(540時間)	評価基準	実習状況 100%
実習計画			
1 実習場所	歯科診療所 ・ 久留米大学病院 等		
2 実習期間	5月～10月（原則90日以上）		
3 実習目標	<p>3年次の臨床実習では、より実践的な知識・技術を学ぶとともに、地域社会での歯科衛生士の有り様を現場で学ぶ。</p> <p>各歯科医院の流れを把握し、医療チームの一員としての歯科衛生士の役割を理解し実践的な知識・技術を体得する。</p>		
4 実習項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療室内の環境整備      ・患者誘導      ・使用器具・器材・材料の準備と後片付け</li> <li>・診療補助(バキューム・ライティング・器具の受け渡し)</li> <li>・各種検査記録      ・印象採得介助と補助・自験      ・各種セメントと仮封剤の取り扱い      ・歯肉マッサージ</li> <li>・口腔内写真の補助      ・PCTとPMTC      ・う蝕予防処置補助(シーラント・フッ化物塗布)</li> <li>・スケーリング      ・TBIおよび保健指導      ・レントゲン補助</li> <li>・各診療補助業務の術式確認      ・外科処置の補助・見学</li> </ul>		

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	医療事務管理者	学年	2年 期生
担当者		期別	後期
単位数	2単位	講義・実習	講義
時間数・授業回数	30時間/15回	専任・兼任	兼任
実務経験	診療報酬請求事務資格所持の講師が歯科診療報酬請求事務について解説する。		

一般目標(GIO)

歯科保健制度の仕組みと診療報酬請求についての知識を習得し、診療報酬請求(レセプト作成)ができるようになることを目標とする。

回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	9	18	水	3	保険請求業務1	傷病名の略称・充填・修形の請求について説明する。
2				4	保険請求業務2	X線の種類・保険請求について説明する。
3	9	19	木	3	保険請求業務3	投薬・医学管理料の保険請求について説明する。
4				4	保険請求業務4	歯内療法について保険請求を説明する。
5	9	24	火	3	保険請求業務3	投薬・医学管理料の保険請求について説明する。
6				4	保険請求業務4	歯内療法について保険請求を説明する。
7	9	26	木	3	保険請求業務5	歯冠修復について保険請求を説明する。
8				4	保険請求業務6	歯周疾患について保険請求を説明する。
9	10	11	金	3	保険請求業務7	手術について保険請求を説明する。
10				4	保険請求業務8	義歯について保険請求を説明する。
11	10	15	火	3	練習問題1	症例を使ってレセプトの作成をする。
12				4	練習問題2	症例を使ってレセプトの作成をする。
13	10	17	木	3	練習問題3	症例を使ってレセプトの作成をする。
14				4	練習問題4	症例を使ってレセプトの作成をする。
15	10	21	月	3	練習問題5	症例を使ってレセプトの作成をする。
				4	テスト	

評価基準

教科書

参考書

筆記試験	100 %	歯科保険請求マニュアル 平成30年版	
	%		
	%		
	%		

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(13:00~14:30)

4限目(14:40~16:10)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	摂食機能訓練法	学年	2年 期生
担当者		期別	前期
単位数	2単位(30時間)	講義・実習	講義
時間数・授業回数	30時間	専任・兼任	兼任
実務経験	大学病院:28年		

一般目標(GIO)

摂食嚥下障害者への効果的なリハビリテーションを実施するために、  
摂食嚥下リハビリテーション医学の基本的な知識および技術を習得する。

回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	5	10	金	1	歯科衛生士と摂食嚥下リハビリテーション(柏崎)	摂食嚥下リハビリテーションにおける歯科衛生士の役割を理解する。
2				2	リハビリテーションと摂食嚥下リハビリテーション(柏崎)	リハビリテーション医学の概要を理解する。
3	5	17	金	1	摂食嚥下に関わる構造(柏崎)	摂食嚥下に関わる構造を習得する。
4				2	摂食嚥下に関わる機能(柏崎)	摂食嚥下に関わる機能を習得する。
5	5	24	金	1	咬合および咀嚼機能の管理と評価(水谷)	咬合および咀嚼機能の管理と評価について説明する。
6				2	摂食嚥下障害者への口腔管理と制度の理解(水谷)	摂食嚥下障害者への口腔管理と制度について説明する。
7	6	14	金	1	栄養管理(谷)	摂食嚥下障害における栄養管理について説明する。
8				2	摂食嚥下の評価(谷)	摂食嚥下の評価について説明する。
9	6	20	木	3	リスクマネージメント/病態別摂食嚥下障害(山添)	摂食嚥下に関するリスクマネージメントと病態別摂食嚥下障害について説明する。
10				4	摂食嚥下訓練(山添)	摂食嚥下訓練について説明する。
11	6	28	金	1	摂食嚥下リハビリテーションと口腔衛生管理(谷)	摂食嚥下リハビリテーションに必要な口腔衛生管理について説明する。
12				2	歯科衛生士が行う摂食嚥下リハビリテーションの基本(谷)	歯科衛生士が行う摂食嚥下リハビリテーションの基本について説明する。
13	7	5	金	1	まとめ(谷)	歯科衛生士に必要な摂食嚥下リハビリテーションの基本について説明する。
14	7	11	木	1	特別講義:摂食嚥下リハビリテーションの臨床(金城)	摂食嚥下リハビリテーションの臨床の概要を理解する。
15				2	特別講義:摂食嚥下リハビリテーションの臨床(金城)	摂食嚥下リハビリテーションの臨床の概要を理解する。
	7	19	金	1	テスト	

評価基準		教科書	参考書
筆記試験	90 %	歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第2版(医歯薬)	
平常点	10 %		
	%		
	%		

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(13:00~14:30)

4限目(14:40~16:10)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	リハビリテーション概論				学年	3年	期生
担当者					期別	前期	
単位数	1 単位				講義・実習	講義	
時間数・授業回数	4 時間× 4 回				専任・兼任	兼任	
実務経験	理学療法士として勤務経験を有する教員がリハビリテーションについて講義を行う						
一般目標 (GIO)							
<p>リハビリテーションは「全人的復権」を意味する言葉であり、医療的介入を示すものではない。</p> <p>本講義では、リハビリテーションの意味および疾患により生じた障害に対する身体的・心理的変化を解説する またリハビリテーションの関連職種および医療制度について解説する。</p> <p>上記を解説し、リハビリテーションの実際について紹介する。</p> <p>本講義の目的: 解説を理解し、説明することができる。</p>							
回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標 (SBOs)	
1	4	11	木	3	リハビリテーション概論	リハビリテーションの語源・歴史を理解する。 日常生活動作の概念を理解する。	
2				4	リハビリテーション概論	障害を持つ人々の心や身体を理を理解する。 疾病の時間経過によるリハビリテーションの提供を考え、理解する。	
3	4	12	金	3	加齢や(オーラル)フレイルとリハビリテーション	加齢の理解を深め、加齢に対する援助やケアを理解する。	
4				4	脳卒中とリハビリテーション	疾病の理解を深め、それに対する援助やケアを理解する。	
5	4	18	木	3	パーキンソン病とリハビリテーション	疾病の理解を深め、それに対する援助やケアを理解する。	
6				4	様々な疾患のリハビリテーションとリスク管理	疾病の理解を深め、それに対する援助やリスク管理を理解する。	
7	5	9	木	3	姿勢やポジショニングにおける筋緊張のみかたとトランスファー実技 (実技と動画視聴)	関節可動域に応じたトランスファー方法やポジショニングを実践できる。	
8				4	姿勢やポジショニングにおける筋緊張のみかたとトランスファー実技 (実技と動画視聴)	関節可動域に応じたトランスファー方法やポジショニングを実践できる。	
	6	14	金	3	テスト		
評価基準					教科書	参考書	
筆記試験	90	%	なし				
平常点	10	%					
		%					
		%					

1限目 (9:00~10:30)    2限目 (10:40~12:10)    3限目 (13:00~14:30)    4限目 (14:40~16:10)



令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	医学概論	学年	3年 期生
担当者		期別	前期
単位数	1 単位	講義・実習	講義
時間数・授業回数	2時間× 8回	専任・兼任	兼任
実務経験	歯科大学で講義:口腔医学概論、医歯学連携演習、基礎免疫学、歯科医療管理学		

一般目標(GIO)

臨床で頻繁に遭遇する全身疾患の概要を理解し、安心・安全な歯科医療が行えるようにする。口腔疾患と全身疾患の関連性を理解する。

回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	11	木	1	代謝・内分泌疾患	糖尿病、骨粗鬆症、甲状腺疾患などの代謝・内分泌疾患を理解し、歯科治療時の注意点を整理する。
2				2	消化器疾患	胃・食道などの疾患および肝臓疾患を理解し、歯科治療時の注意点を整理する。
3	4	18	木	1	循環器疾患	心疾患、血圧異常などの循環器疾患を理解し、歯科治療時の注意点を整理する。
4				2	血液疾患、呼吸器疾患	血液疾患および各種呼吸器疾患を理解し、歯科治療時の注意点を整理する。
5	5	9	木	1	腎・泌尿器疾患、免疫疾患・膠原病	腎疾患および各種免疫疾患・膠原病を理解し、歯科治療時の注意点を整理する。
6				2	感染症	インフルエンザ、カンジダ症、AIDSなどの感染症を理解し、歯科治療時の注意点を整理する。
7	5	23	木	1	神経疾患、精神疾患	各種神経疾患や精神疾患を理解し、歯科治療時の注意点を整理する。
8				2	がん、産科・婦人科疾患	がんや妊娠、参加・婦人科疾患を理解し、歯科治療時の注意点を整理する。
	6	14	金	4	テスト	

評価基準

教科書

参考書

筆記試験	100%	医歯薬出版 歯科衛生士のための全身疾患 ハンドブック	
	%		

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(13:00~14:30)

4限目(14:40~16:10)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	看護概論	学年	2年 期生
担当者		期別	後期
単位数	1 単位	講義・実習	講義
時間数・授業回数	2時間× 8回	専任・兼任	兼任
実務経験			

一般目標(GIO)

1. 病院における歯科衛生士の役割を理解し、看護師との連携を理解する。
2. 地域医療活動における歯科衛生士の役割を理解する。
3. 看護の定義、看護の対象、看護の目標及び役割を理解する。
4. 歯科衛生士に必要な看護技術を理解する。

回数	月	日	曜日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	9	11	水	1	病院、及び地域医療活動における歯科衛生士の役割	1. 歯科衛生士の活動の場、医療チームの一員としての看護師との連携の内容を説明する。 2. 保健・医療・福祉チームとの連携の必要性を述べる。 3. 在宅医療における歯科衛生士の役割を述べる。
2				2	看護の概念 歯科衛生士に必要な看護技術	1. 看護の定義、看護の対象、看護の目標及び役割を説明する。 2. コミュニケーションの方法や注意点を述べる。
3	9	25	水	1	歯科衛生士に必要な看護技術	バイタルサインの正常と異常を説明する。
4				2	歯科衛生士に必要な看護技術	バイタルサインの測定方法と測定時の留意点を述べる。
5	10	2	水	1	歯科衛生士に必要な看護技術	1. 安楽な体位保持の方法を述べる。 2. 体位変換の方法を述べる。
6				2	歯科衛生士に必要な看護技術	1. 感染対策の必要性と方法を述べる。 2. 医療安全対策の必要性を述べる。
7	10	9	水	1	歯科衛生士に必要な看護技術	1. 経口摂取ができない場合の栄養法、及び管理上の留意点を述べる。 2. 吸引の種類を述べる。 3. 吸入の方法と留意点を述べる。
8				2	歯科衛生士に必要な看護技術	1. 罨法の種類と効果、使用上の注意点を述べる。 2. 全身疾患を有する患者の歯科治療における注意点を述べる。 3. 与薬方法と与薬上の注意点を述べる。
	10	30	水	2	テスト	
評価基準				教科書		参考書
筆記試験				100%	医歯薬出版(株)	
				%	歯科衛生士のための看護学大意	
				%		

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(13:00~14:30)

4限目(14:40~16:10)